

100名瀑踏破

そして世界3大名瀑へ

はじめは、仕事で写真を撮らなければならない状況になり、上手になりたい一心から一眼レフで練習を始めたことに遡る。

何ごとも基本が肝心と考え、通信教育の写真講座を受講した。

被写体のテーマを絞ると「日本の滝百選(緑の文明学会出版)」「日本の名瀑」の写真集が目に止まり、元々、自然の山へ行きたいという思いもあり、被写体に滝を撮つていけば上達するだろうと考えた。

森には森林浴があるように滝にはマイナスイオン浴がある。大きな滝は躍動感があり、小さな滝には安らぎを感じる。

滝見行には、大自然の中に自分を置くことで、ストレス解消、気分転換、心の洗濯など最高の癒しが得られる不思議な魅力がある。

また、自然の恵みに感謝し、「滝を見に来てやった」ではなく「滝を見させてもらう」という感謝の念を持つことが、山から無事帰れるための儀式であると、常に心得としている。

〔1〕丸神の滝（埼玉県）

七六m

滝撮影開始の最初の一滝。
写真撮影の実力UPに被写
体として滝を選んだ。今思え
ば選んでしまったと言ふか、
途中、百とはこんなに沢山な
のかと思ってしまう。反面、
滝の虜になってしまった。
両神山一、七二四mの麓、
小森川に注いでいる閑静な滝
で、観瀑台から眺めていると
ベスト森林浴を感じる。

丸神の滝 説明板

この滝は3段に分かれ、1段目は最高約16m
2段目は約14m、3段目は約6m。滝の
落差約46m。滝より上流約1.5km下
流約4.0kmで小森川に注いでいる。越下では
温泉とされています。



一九九〇年
七月八日
総行程

四〇八km
四〇八km

〔2〕袋田の滝（茨城県）

袋田の滝は別名、四度の滝とも呼ばれ、四季折々の表情が楽しめる。



総 行 程
一九九〇年 八月
計 三一一
一一九 km 日



一一〇m

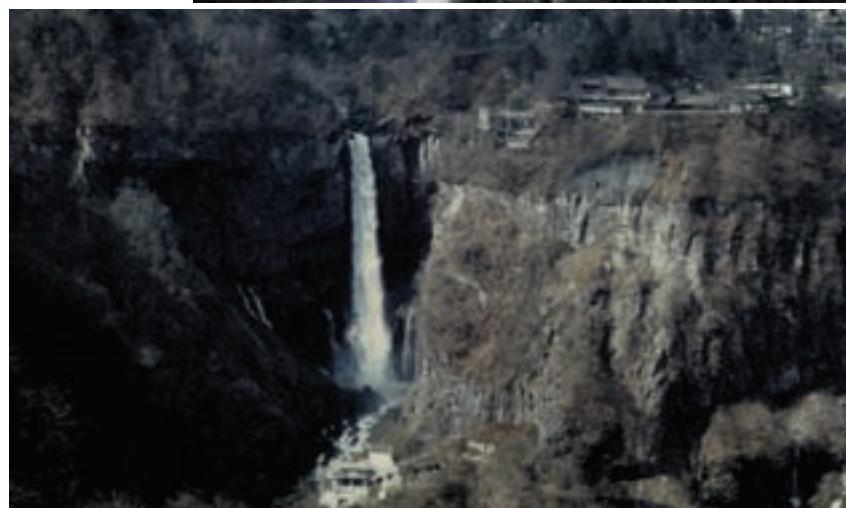
〔3〕華厳の滝（栃木県）

九七m



第二いろは坂の展望台、明智平から見る景色はパノラマである。

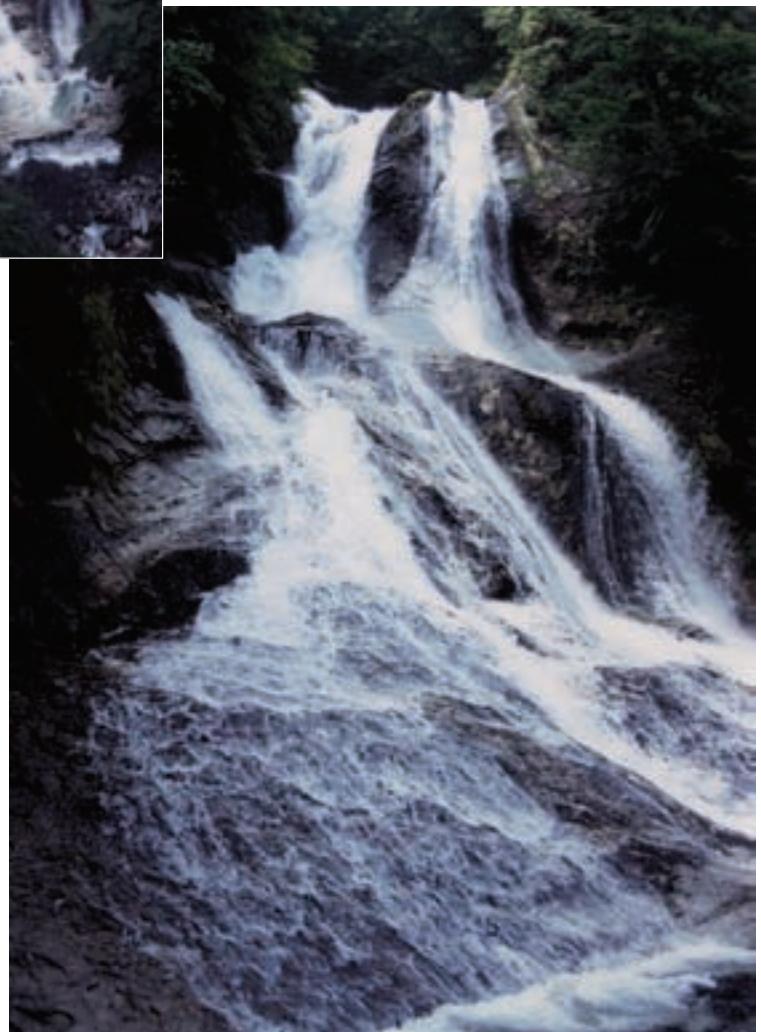
一九九〇年 八月一四日
総 行 程
一一三七〇 km



〔4〕霧降の滝（栃木県）

七五m

観瀑台の上から見る姿も美しいが、滝壺へ下り、岩を滑るように流れる水を見るのも、心和やかになる。
アカヤシオ（ツツジ科、柄木県の県花はヤシオツツジです）の花が咲く春も滝には風情がある。



〔5〕布引の滝（兵庫県）

四三m

滝の流れを抱擁する岸壁は、
陽光と採光、含水と乾燥によ
り、藍色、淡青色、茶褐色、
乳白色にもなり、変化に富ん
だ表情が楽しめる。



一九九〇年 九月二日
総 行 程 一、〇八八 km
計 二、四六四 km

〔6〕払沢の滝（東京都）

滝の水が流れ落ちるさまが僧侶の払子を垂れた様に見えたことからその名がついたという。

エメラルドグリーンの滝壺が神秘的だ。真夏の夜に開催される滝まつり（八月中旬下旬）ではライトアップされ、幻想的な世界が広がる。また、冬の氷結した滝は自然の造形美をみせてくれる。

（広報東京都第五八六号H七
〔一九九五〕八・一 ふるさと
探訪73より）



六〇m

〔7〕七つ釜五段の滝（山梨県）

五〇m

一九九〇年 九月九日
行程 一六三km
総計 二、六二七km



一九九〇年一〇月二〇日
行程 一、四五〇km
総計 四、〇七七km

登路は渓谷歩道を、帰路は軽便軌道跡を御利用下さいと
いう遊歩道に鉄道線路が残されていました。
秋の紅葉はとくに、とくに
すばらしい。

〔8〕北精神ヶ滝（山梨県）

南アルプス鳳凰三山から流れ出して大武川へそぞぐ石空

川、この渓谷には大小七つの滙があり豊富な水量と鋭く切れ込んだ谷は蛇行を繰り返して

ごうごうとこだまを響かせている。

なかでも北精神ヶ滙はこの

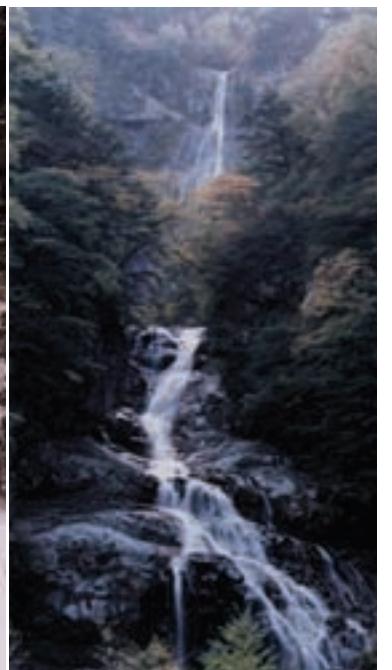
石空川渓谷を代表する滙で落

差一二一メートルから一気に落ちる滙はまさに豪快である。

そして冬の氷瀑もみごとである。いつかこの滙へのアプローチで崖崩れがあった。そ

こを通りかかった滙撮影関係者が遭遇し不帰の人となつた。

いつも思う、山は怖い。

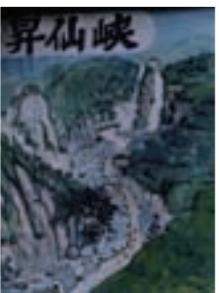


〔9〕仙我滙（山梨県）

三〇m

昇仙峡渓谷にかかる三段からなる名滙。

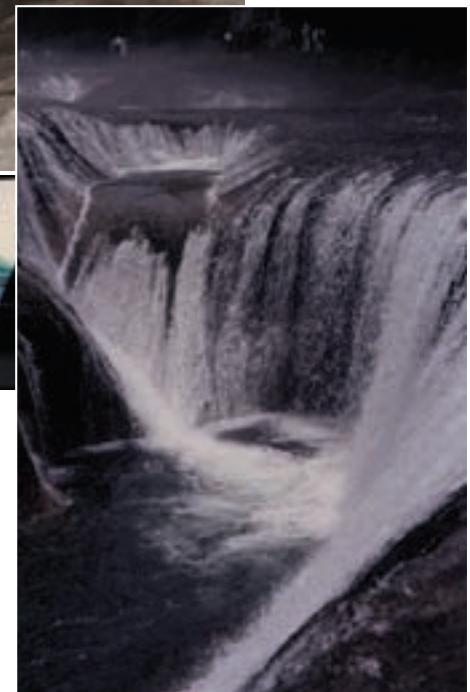
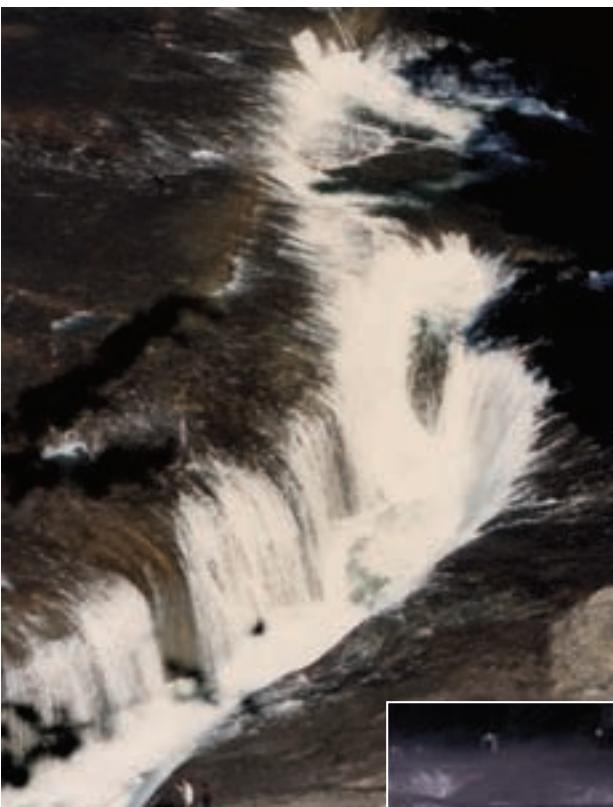
陽光の有無により右岸の表情が落ち着いた表情をなし、また明るい表情をなし、味わいのある、見ていても飽きない滙である。



一九九〇年一〇月二一日
行程 二九六 km
総計 四、三九七 km

〔10〕吹割の滝（群馬県）

滝の流れの水に足をつけながら、滝に吸い込まれそうになりながら見のも迫力があるが、遊歩道の上より見る滝もすばらしい。



〔11〕棚下不動の滝（群馬県）

一九九〇年一〇月二八日
行程三三七km
総計四、七三四km

三七m



一九九〇年一月四日
行程二九五km
総計五、〇二九km



石段下には棚下不動堂があり、岩窟の不動堂奥院には石造の不動明王が祀られているという滝の周囲は静寂さと仙境を感じさせる。裏見の滝もある。



〔12〕箕面の滝（大阪府）

1990年度 行程表

観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
1	7 8	丸神の滝	埼玉県	両神村、荒川水系				400	8	408
2	8 11	袋田の滝	茨城県	大子町、久慈川				310	1	311
3	8 14	華厳の滝	栃木県	日光市、大谷川				650	1	651
4	8 //	霧降の滝	栃木県	日光市、鬼怒川					6	6
5	9 2	布引の滝	兵庫県	神戸市、生田川		1,080		0	8	1,088
6	9 9	払沢の滝	東京都	檜原村、秋川渓谷				160	3	163
7	10 20	七つ釜五段の滝	山梨県	三富村、西沢渓谷				1,440	10	1,450
8	10 //	北精進ヶ滝	山梨県	武川村、石空川渓谷					24	24
9	10 21	仙我滝	山梨県	甲府市、昇仙峡				290	6	296
10	10 28	吹割の滝	群馬県	利根村、片品川				330	7	337
11	11 4	棚下不動の滝	群馬県	赤城村、利根川				290	5	295
12	11 23	箕面の滝	大阪府	箕面市、箕面川		1,060		0	8	1,068
				1990年度計	0	2,140	0	3,870	87	6,097

箕面市箕面国定公園内にあるこの滝は高さ三三メートルとそれ程ないが、紅葉の頃、

陽光の中、滝壺から見上げていると時間の経つのを忘れる。



一九九〇年一月二三日
総行程六一〇六八km
計六〇九七km

三三三m

〔13〕酒水の滝（神奈川県）

六九メートル三段からなるこの滝は修驗の滝でもある。

名水百選にも選ばれている。



一九九一年三月一六日
総行程一八四km
総計六、二八一km

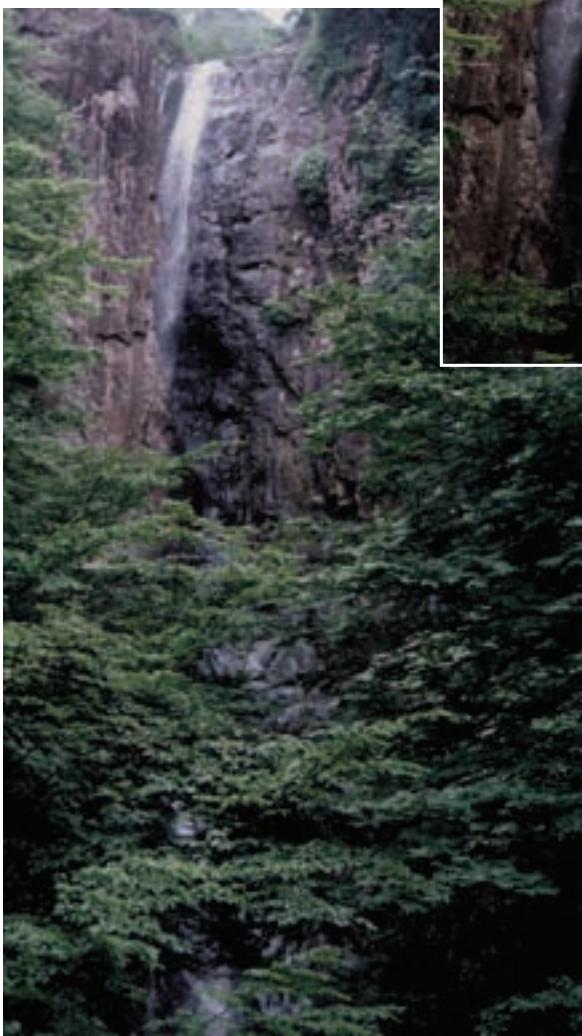
〔14〕早戸大滝（神奈川県）

五〇m

誰にも会わない早戸川を遡る。

滝の前には大岩壁があり、滝の全容は見ることができなかつた。

一九九一年七月二〇日
総行程一九二km
総計六、四七三km



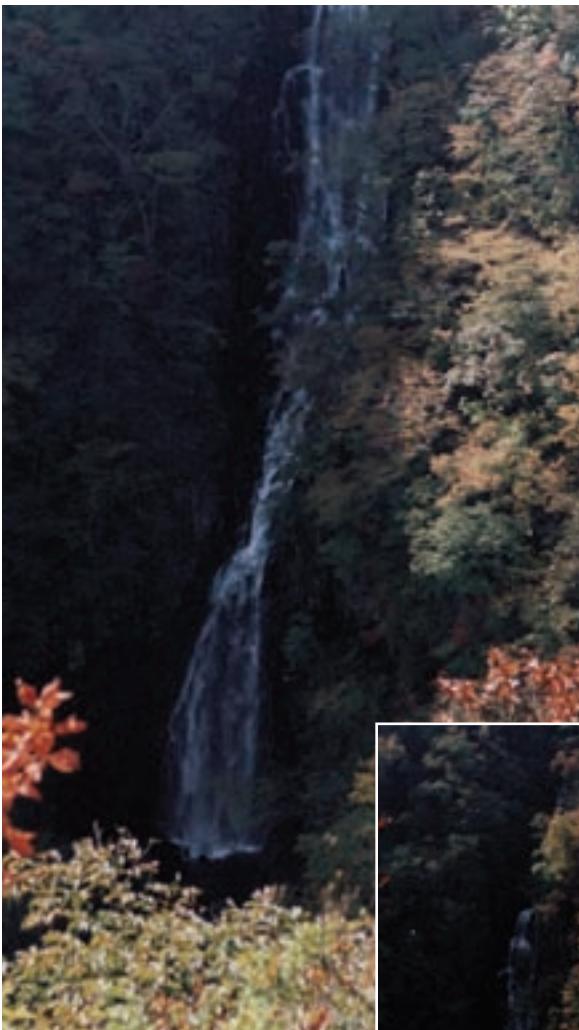
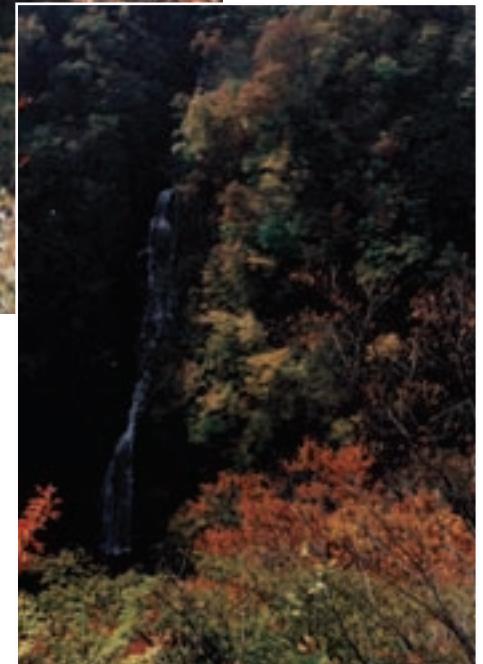
〔14〕三階の滝（宮城県）

一八一m

観瀑台から見る、断崖から
落下する純白の流水は雄大で
ある。

紅葉時見る滝は尚最高であ
る。

一九九一年一〇月二四日 行程
総計 七、二六四km



〔16〕秋保大滝（宮城県）

五五m

高さ五五mを一気に流れ落
ちた水は滝壺で跳ね返され水
煙となって上空に舞い上がる。

滝壺で眺める雰囲気はマイ
ナスイオン百分%である。



一九九一年一〇月二四日 行程
総計 七、二六七km



〔17〕 銚子ヶ滝（福島県）

この滝の名称の由来は形が酒を入れる銚子に似ていることから名付けられた。

このアンダルより左岸へ渡った方がもっと銚子の形が見られたかもしない。

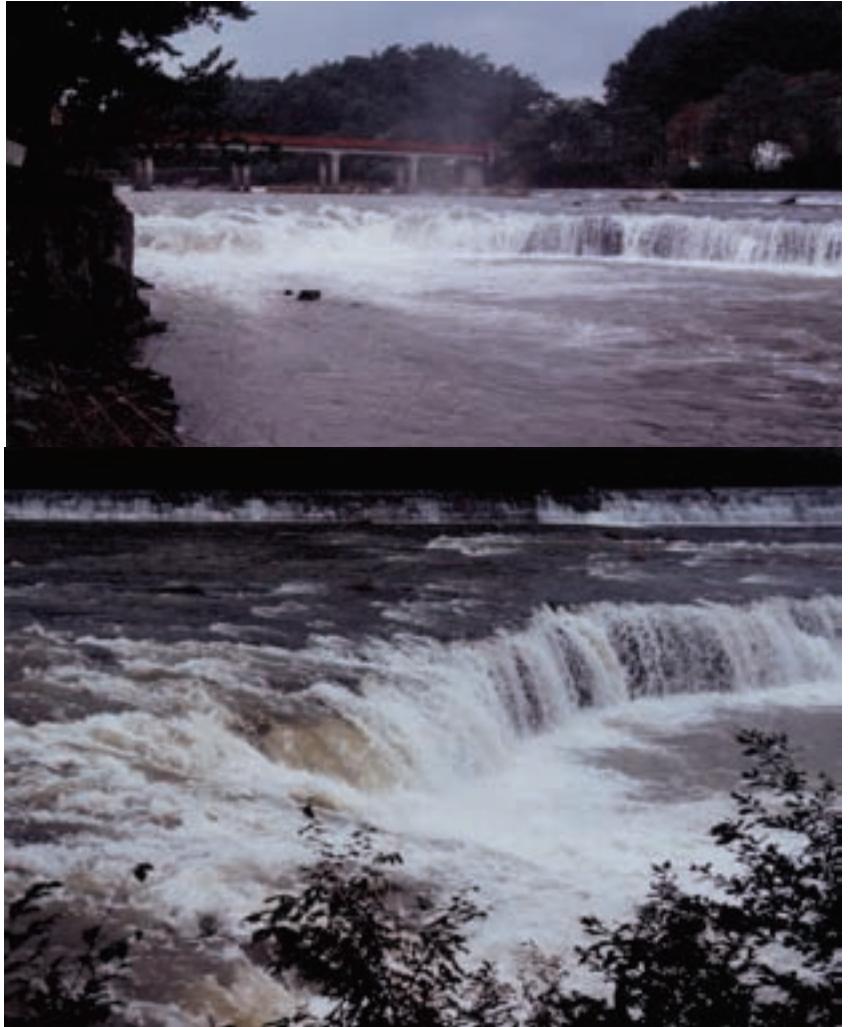


〔18〕 乙字ヶ滝（福島県）

（福島県）

六m

滝の形が乙字をなしていることから名付けられた。雄大な滝である。



一九九一年一〇月二六日
行程 一五 km
総計 七、二八二 km

四八 m

〔19〕淨蓮の滝（静岡県）

二五m

わずか二五mではあるが、豪快に滝壺に流れ落ちる様は風格がある。

滝壺の轟音のなか、釣竿を操る釣り人が印象的であった。

一九九一年 一一月二日
総行程 七、九三八km 六五四km



〔20〕阿寺の七滝（愛知県）

六四m

礫岩から流れる七段の滝は二番目と五番目の滝壺は甌穴となつてゐる。

最下段の滝壺にいて、流れてくる滝を見ていると安らぎを与えてくれる。



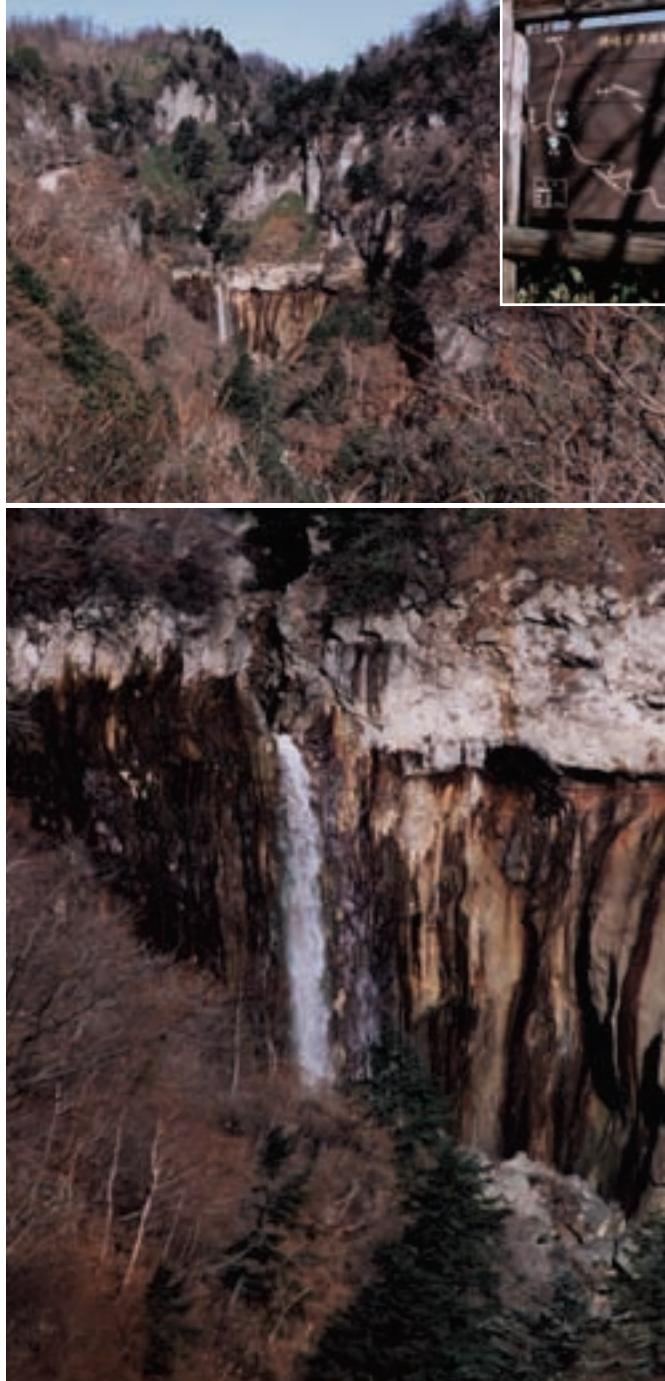
一九九一年 一一月一〇日
総行程 三三二km 八、二六〇km

〔21〕常布の滝（群馬県）

滝壺へ行くにはガイドの同行が必要という秘境の滝。渋峠草津探勝歩道から遠くに眺めた。

いつか滝壺に行つてすばらしい光景を見させてもらう。

一九九一年 一二月一日
行程 四四五 km
総計 八、七〇五 km



〔22〕養老の滝（岐阜県）

三〇m

この滝の水は万病を癒す薬の水という、そして若返りの水とも言う。

私も飲んで来た、若返つてしまつた。

この滝の見える食堂にいたら、可愛い娘さんを連れた夫婦と出合つた。

ご主人に”海外の滝を見た

ことがあるか”と問われた。多分イグアスの滝だつたと思う。”その滝は見事と言うほかなく、見に行つたら感激しますよ”と言われた。

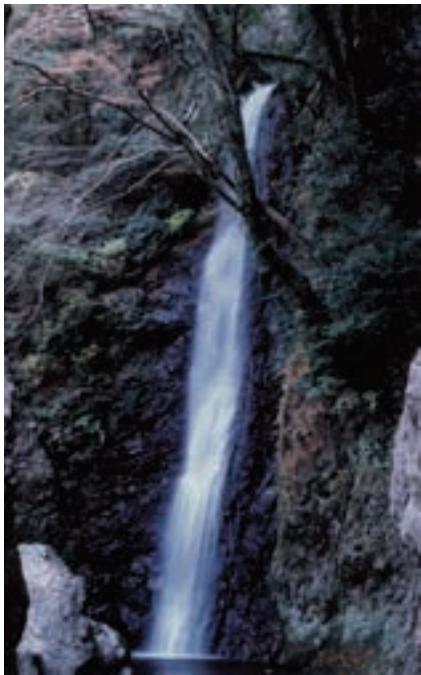
日本の滝を廻り始めて二三個目であり、海外までは全く考えていなかつた。

まさか海外の滝まで見に行くとは思つてもいなかつた。

この手記を書いている今、日本百名瀑を廻り終わり、世界三大名瀑の二つを観瀑した。残る一つも見に行きたいと思つてゐる。



一九九一年 一二月七日
行程 八五三 km
総計 九、五五八 km



1991年度 行程表

観瀑日	100名瀑				工程km						
	月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
13 3 16	酒水の滝	神奈川県	山北町、酒匂川						180	4	184
14 7 20	早戸大滝	神奈川県	津久井町、早戸川						170	22	192
15 10 24	三階の滝	宮城県	蔵王町、澄川渓谷						790	1	791
16 10 //	秋保大滝	宮城県	仙台市、名取川							3	3
17 10 26	銚子ヶ滝	福島県	郡山市、石筵川							15	15
18 10 //	乙字ヶ滝	福島県	須賀川市、阿武隈川							2	2
19 11 1	阿寺の七滝	愛知県	鳳来町、阿寺川						320	2	322
20 11 2	淨蓮の滝	静岡県	天城湯ヶ島町、狩野川						640	14	654
21 12 1	常布の滝	群馬県	草津町、大沢川						440	5	445
22 12 7	養老の滝	岐阜県	養老町、津屋川						850	3	853
					1991年度計	0	0	0	3,390	71	3,461

〔23〕赤目四十八滝（三重県）

一五
m



室生・赤目・青山国定公園
内にある全長約4km、往復約
三時間をして探勝する滝々。
琵琶滝、布曳滝など、心落

ち着く滝が沢山あるが、私は
心癒される、荷担(ない)滝
が好きである。

一九九二年
総行程
計
一〇、一、一三〇
km km

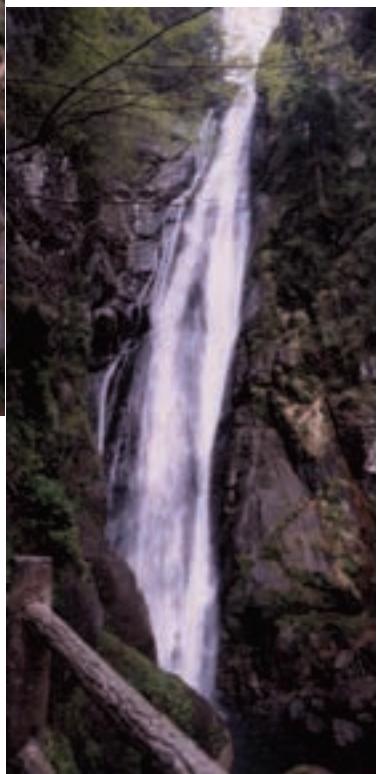


〔24〕安倍の大滝（静岡県）

八〇m

垂直に切り立つた岩の上から落する水が飛沫となり、付近に飛び散る様は雄大な景観である。

一九九二年 四月三〇日
総行程 一一、六二〇km

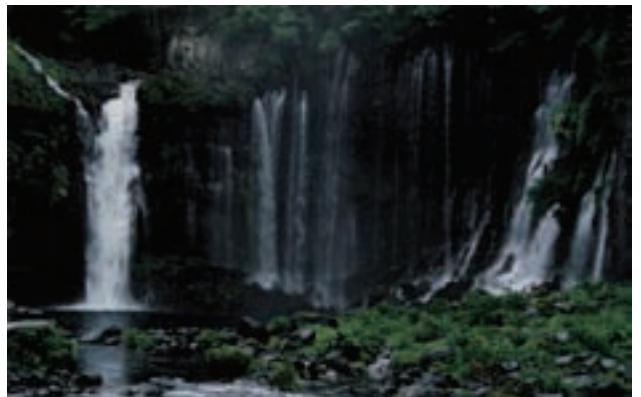


〔25〕白糸・音止めの滝（静岡県）

一一〇m

百mの長さのU字形岩壁の中腹から水が涌き流れ出る。潜流瀑はめずらしい滝だ。

一九九二年 四月三〇日
総行程 一一、六二三km



〔26〕三本の滝（長野県）

滝をのぞむ中央の岩に不動明王と摩利支天の石仏がまつられていたという。この滝は乗鞍火山の溶岩滝

の末端にできた滝である。
乗鞍岳へ向かっているとい
う登山者一人に出会う。相手は
冬山登山の完全装備であった。

私は朝早かつたので雪がし
まつていると思い、ハイキン
グシューズだったような気が
する。



〔27〕田立の滝（長野県）

九六m

南木曽町大滝川にかかる田立の滝群は雄大な岩壁から流れ落ちる迫力のある滝である。

らせん滝・霧ヶ滝など数あ

一九九二年	五月一日
総行程	五 km
総計	一一、六三四 km

る滝の中で主瀑の天河滝が大きな岩の印象的な滝であった。



〔28〕米子大瀑布（長野県）

八五m

水源は四阿山から発し米子川にかかる他に比類のない雄大な滝である。

写真帳の写真を目に入れながら現地に赴いた。日本にもこういう所があつたのだと感

心した。
往路、断崖の所を通る一本道、車を進めた。崖崩れでこの道が塞がれたらと思うと心細かった。

一九九二年六月一二日
行程一、〇八六km
総計一一、七二〇km



〔29〕苗名滝（新潟県）

五五m

柱状節理を持つ玄武岩の断層から流れ出る四つの滝の一つである。

水量のある時は豪快で、少

ない時では趣があり見事な滝

である。

一九九二年六月一二日
行程五km
総計一一、七二五km



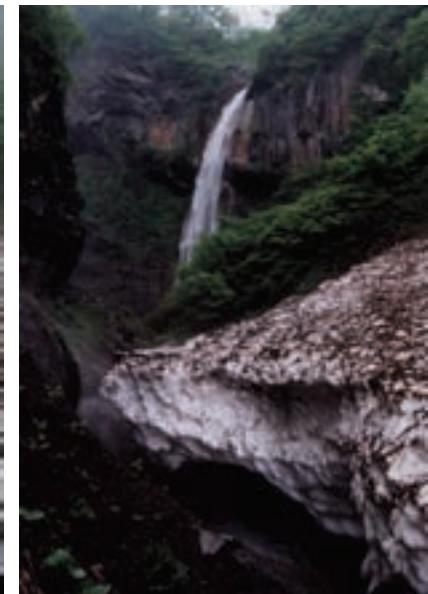
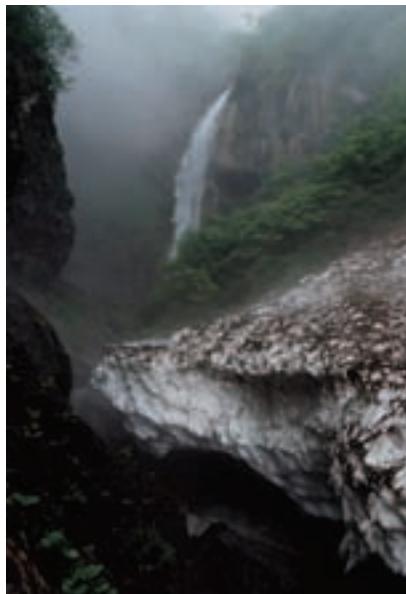
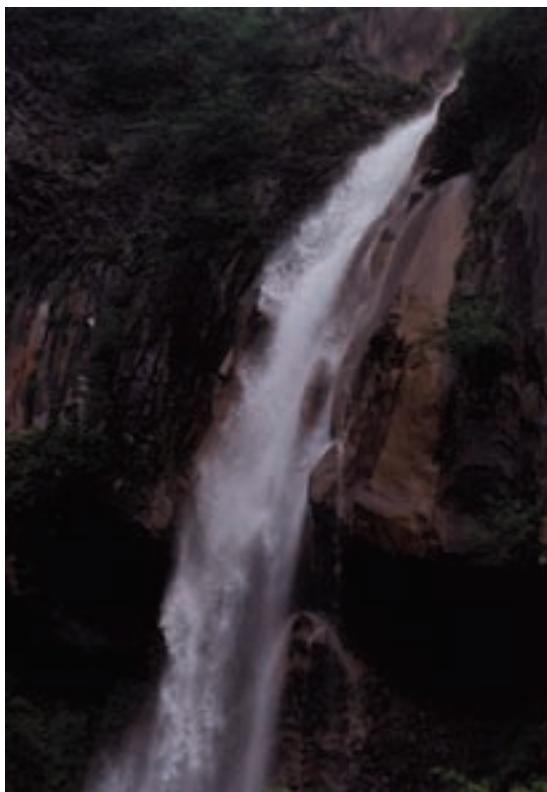
〔30〕惣滝（新潟県）

八〇m

新潟県妙高村燕温泉の奥まで
行った所にある滝。

水量も多く、残雪との対比
が印象的であった。

一九九二年六月一三日
行程三km
総計一二、七二八km



〔31〕称名滝（富山県）

三五〇m



一九九二年六月一四日
行程一二km
総計一二、七四〇km

中部山岳国立公園にある、
落差三五〇mを誇る日本一の大滝。

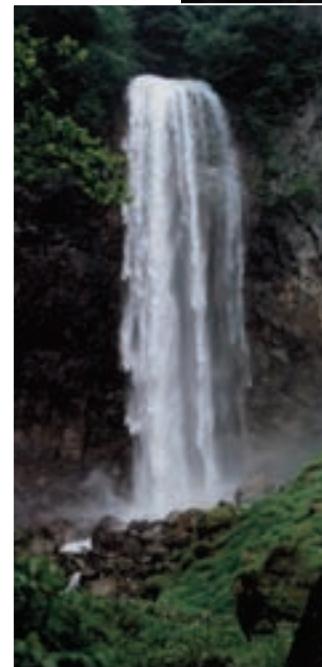
観瀑の時期はやはり、雪解けや豪雨時に、称名滝の右側ろう。



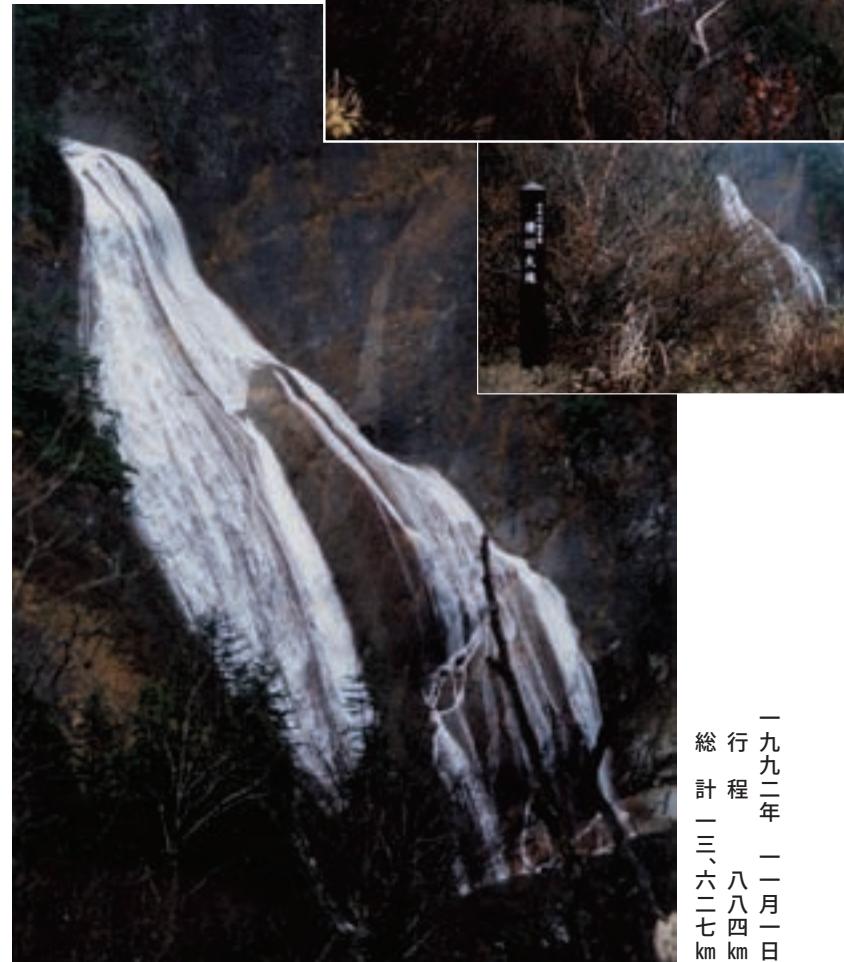
〔32〕平湯大滝（岐阜県）

中部山岳国立公園の海拔
一、四七五mにある味わいの
ある滝。

霧に包まれ、かすむ滝は神
秘的で優雅である。



〔33〕滑川の大滝（山形県）



一九九二年 一月一日
総行程 八八四km
総計 一三、六二七km

八〇m



秘境の湯治場・滑川温泉の
近くにある雄大な滝。

滝壺から見上げる姿はみご
とである。
滝壺に行くには熊除けベル
と笛が必携。

六四m

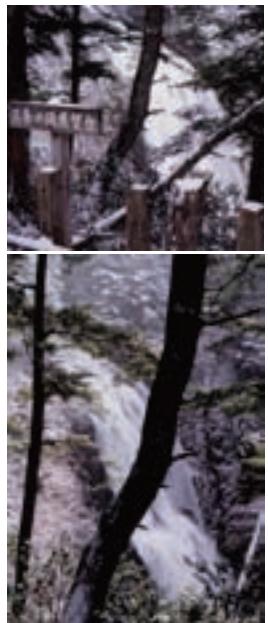
34 三条の滝（福島県）

1992年度 行程表

観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
23	4 12	赤目四十八滝	三重県	名張市、滝川				1,120	10	1,130
24	4 30	安倍の大滝	静岡県	静岡市、安倍川				920	12	932
25	4 //	白糸・音止めの滝	静岡市	富士宮市、富士川					3	3
26	5 1	三本の滝	長野県	安曇村、小大野川					6	6
27	5 //	田立の滝	長野県	南木曽町、木曾川					5	5
28	6 12	米子大瀑布	長野県	須坂市、米子川				1,080	6	1,086
29	6 //	苗名滝	新潟県	妙高高原町、関川					5	5
30	6 13	惣滝	新潟県	妙高村、大田切川					3	3
31	6 14	称名滝	富山県	立山町、称名町					12	12
32	6 15	平湯大滝	岐阜県	上宝村、乗鞍山系					3	3
33	11 1	滑川の大滝	山形県	米沢市、大滝沢				880	4	884
34	11 2	三条の滝	福島県	檜枝岐村、只見川					28	28
				1992年度計	0	0	0	4,000	97	4,097



尾瀬の水を集めて一気に落
下する豪快な滝。
この滝の水量は日本一か
な！



一九九二年
総行程
一一月二日
計
一三、六五五
二八八
km km

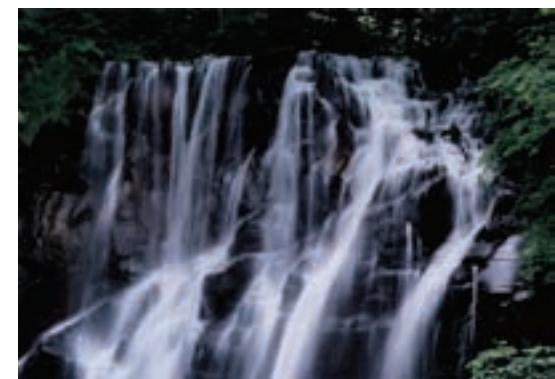
100m

〔35〕アシリベツの滝（北海道）

三〇m



2004.6.25 撮影



1995.5.24 撮影

札幌市、滝野すずらん丘陵

年六月二十五日に見に行つた。

公園の中になり、公園を散策し、滝をゆっくり観賞と鑑賞するにはいつまでも見飽きることがない滝だ。

滝は崩れ、後退していた。この美しい滝は滅びないので、いつまでも残っていて欲しいと感ずる。

一九九五年五月二十四日に
一回見て、二回目は二〇〇四年

一九九五年 五月二四日
行程 一、六三二km
総計 一五、二八七km

〔36〕安の滝（秋田県）

九〇m

山奥深い またぎの里、悲恋ヤスの伝説がのこつている。渓流の中に見つけることができる。

黒い岩肌を筋状模様に流れ落ちていく姿は美しく、滝壺

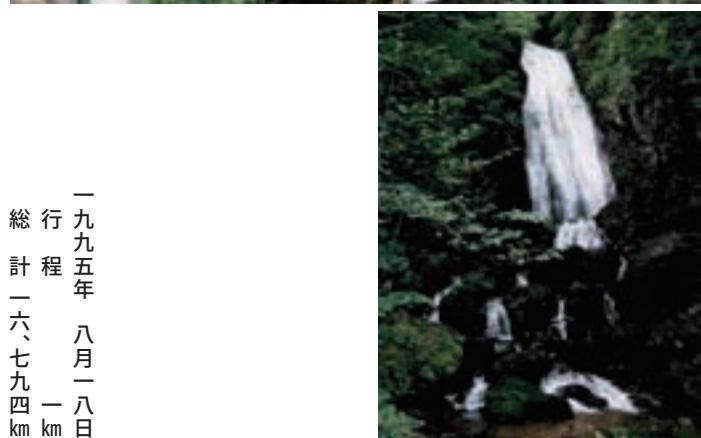
より見上げる景観はみごとである。



一九九五年 八月一七日
行程 一、五〇六km
総計 一六、七九三km

〔37〕不動の滝（岩手県）

朱色の渡橋から見る姿は優雅な雰囲気を感じ、深緑より涌き出でる姿は堂々たる滝だ。



〔38〕七滝（秋田県）

六〇m



黒々とした岩肌を七段に渡つて流れ落ちる勇壮な滝である。



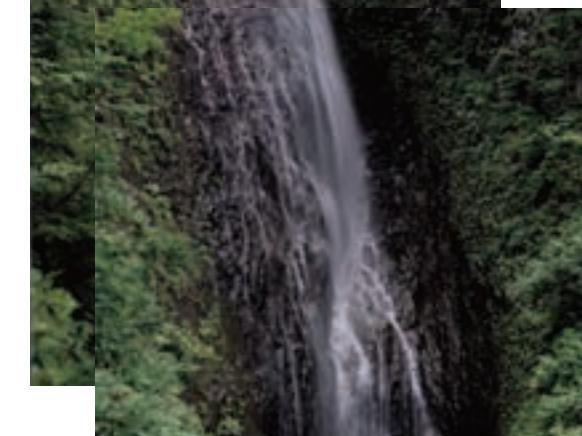
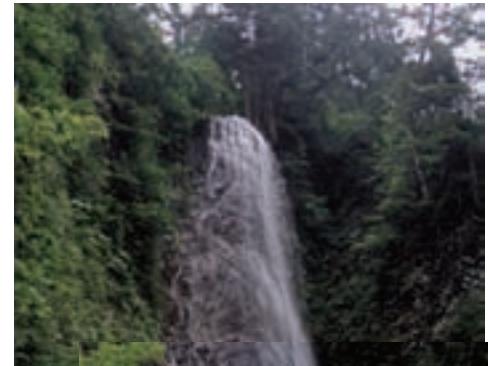
一九九五年 八月一八日
行程
総計 一六、七九六 km

〔39〕茶釜の滝（秋田県）

100m

1995年度 行程表

観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
35	5 24	アシリベツの滝	北海道	札幌市すずらん公園	1,600	20		10	2	1,632
36	8 17	安の滝	秋田県	阿仁町、打当川				1,502	4	1,506
37	8 18	不動の滝	岩手県	安代町、不動川					1	1
38	8 //	七滝	秋田県	小坂町、小坂川					2	2
39	8 19	茶釜の滝	秋田県	鹿角市、夜明島渓谷					11	11
				1995年度計	1,600	20	0	1,512	20	3,152



夜明島渓谷の沢を登り、山奥深い樹林の中にある落差百mの滝。

急峻な断崖を流れ落ちる姿は圧巻である。

観瀑スペースは幅一m程の狭い尾根状で左右は崖、しかも坂地のため不安定。近くの木にスリングで自分を確保、三脚に付けたカメラもスリングで確保した。

滝から観瀑場所が近く、三五ミリのレンズでは全く見えられなかつた。

広角レンズを車に置いてきた事を後悔した。

総行程
計
一六、八〇七km
一九九五年八月十九日

〔40〕龍双ヶ滝（福井県）

六〇m

雛段状を思わせる岩肌の流れくる清水は趣があり美しい。見ていると清水を手で触りながら雛壇上を上つて行けばうに思い楽しさを感じる滝である。



一九九六年三月二一日
行程一、三三六km
総計一八、一四三km

〔41〕阿弥陀ヶ滝（岐阜県）

六〇m

白山信仰の靈場として修験者・滝参りの人々でにぎわう、落差六〇mの美瀑である。

折れ滝・たまたま風によつて押し流され見える滝の情景だが、一人旅をしていてこういうのを観られる事はうれしいものだ。



一九九六年三月二一日
行程一、一四四km
総計一八、一四四km



〔42〕根尾の滝（岐阜県）

残雪、岩肌を調和させる一條の滝は豪快さと優雅さを感じする。

朝五時起床、今回は案内板のある所でテント泊を行う。朝の気温はマイナス二度であった。滝までのアプローチは六本爪のアイゼンが有効に活用できた。



一九九六年三月二二日
総行程一八、一六〇km
計二〇、一五九km

〔43〕八草の滝（和歌山県）

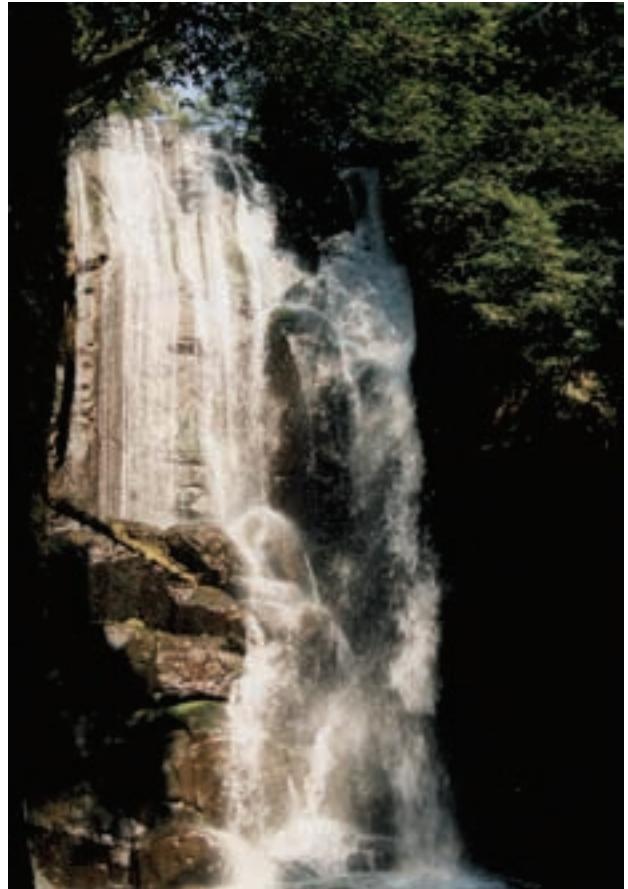
一一一m



一九九六年四月二七日
行程一、九九九km
計二〇、一五九km

対岸に渡れず、滝つぼには行けなかった。
流水の少なさ、対照的な新緑と赤い岩肌が印象的であった。

〔44〕桑ノ木の滝（和歌山県）



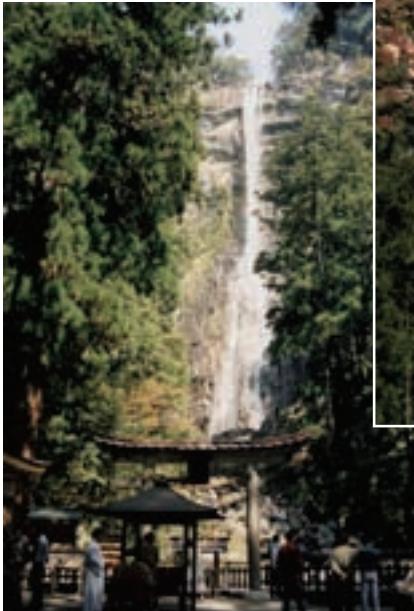
舗装された道路から細い橋を渡り六八〇Mの奥まつた所、午後2時半ごろ滝に到着した、ちょうど滝壺に虹がかかり、新緑の明るさ、岸壁の暗さ、滝の流れの眩しさが幻想的であつた。

一九九六年 四月二七日
行程 総計二〇、一六二 km



〔45〕那智の滝（和歌山県）

一三三三m



さすが、日本3大名瀑の一つ、滝の下、飛滝神社から見上げる様はまさに天を仰ぐど

いう感じだ。
滝に一番近い滝見台では飛沫が出来る。

一九九六年 四月二八日
行程 総計二〇、一六五 km

〔46〕布引の滝（三重県）

五三m



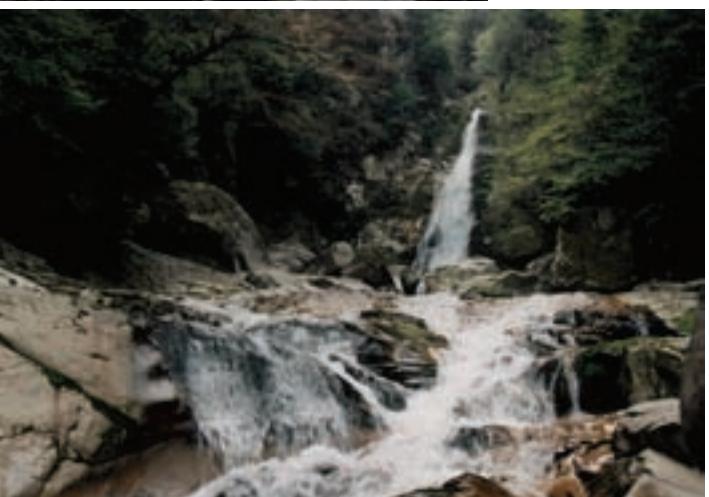
わずかに傾いた一枚岩をまさに布が滑るように流れる様は滝の名のとおりである。遠景はハガキの絵になるような好景であった。



〔47〕 笹の滝（奈良県）

三〇m

白い岩肌と新緑と水の流れは調和が取れてきれいな景観であつた。

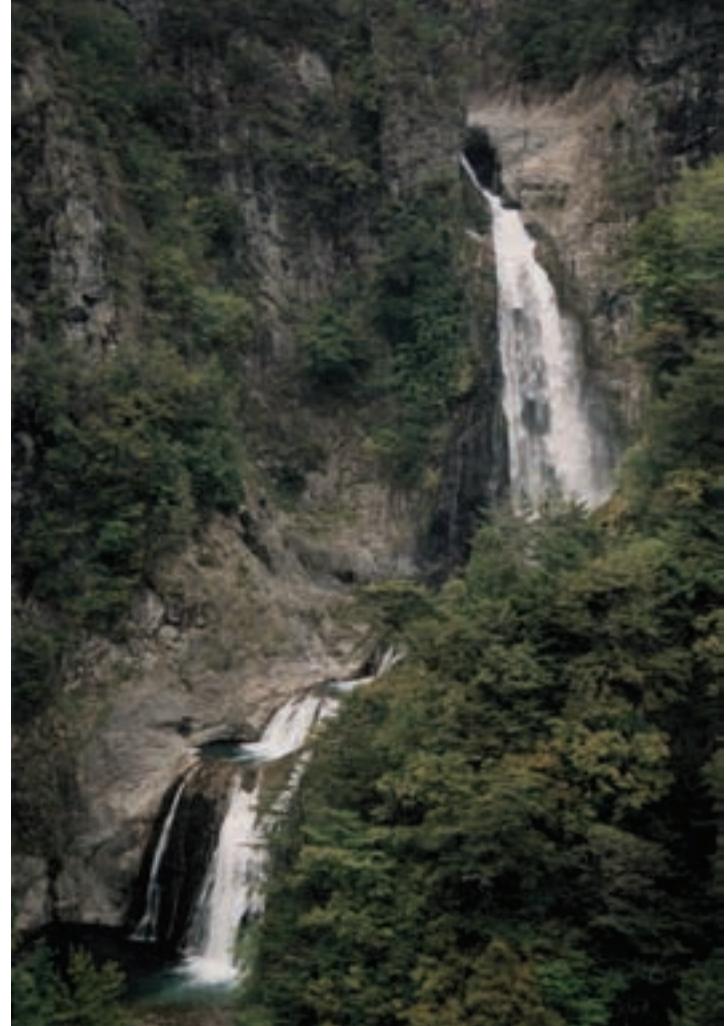


一九九六年 四月二九日
行程
総計二〇、一六八km

一九九六年 四月二八日
行程
総計二〇、一六六km

〔48〕不動七重滝（奈良県）

100m



滝は自動車道より望む。
連続した4段の滝は水量も
みごとであり、滝つぼのエメ

ラルドグリーンの水の色もみ
ごとであった。

一九九六年四月二九日
行程二km
総計二〇、一七〇km

〔49〕双門の滝（奈良県）

70m

垂直に近い鉄ばしごを登り、
岩場を登り、写真帳の滝を目
に浮かべながら前進した。
それにしても、ここもきつい
山道だ。



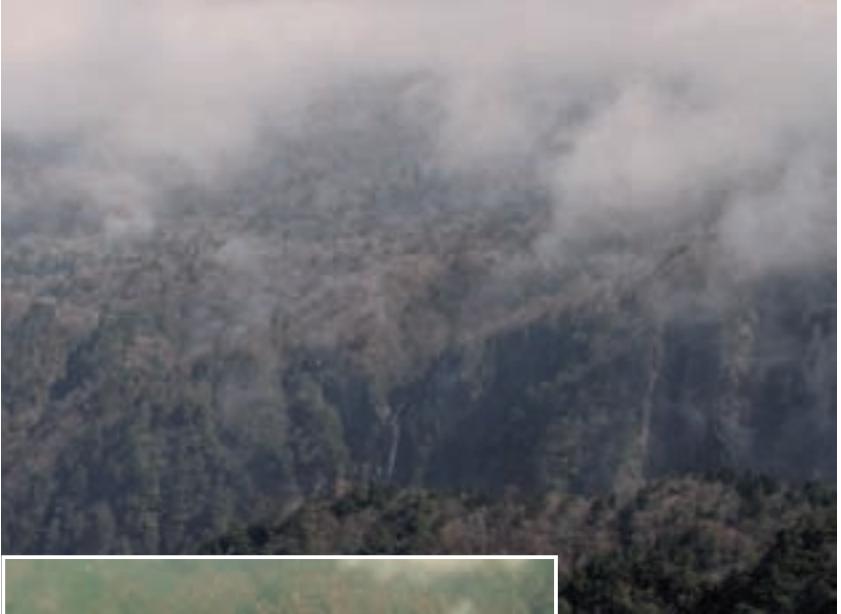
二万五千分の一の地図を携
帯し、滝へのスタートを開始
する。弥山川・白川八丁へ降
りたが川には水が流れていな
かつた。河原の下を流れてい

るようだ。上り道に入る、橋
は流されて対岸へは徒渉を余
儀なくされたり、鉄製の橋は
崖崩れにあり、押し流されて
大木に止まっている。

一九九六年四月三〇日
行程二〇、一七八km
総計二〇、一七八km

〔50〕中の滝（奈良県）

二五〇m



滝へは急峻な山道のため最短の展望台
である、「大蛇嵒」からの遠望となつた。
滝壺へ行つてない、あるいは行くこ
とが困難で行つてない箇所が何ヶ所か
ある。行きたいものである。

〔51〕七つ釜滝（三重県）

一五〇m



一九九六年 五月三日
総行程 一三 km
計二〇、一九四 km

観瀑小屋からは3釜しか見
られないのが残念であるが、
スケールの大きい雄大な段瀑
である。

〔52〕寂地峡五竜の滝（山口県）

100m



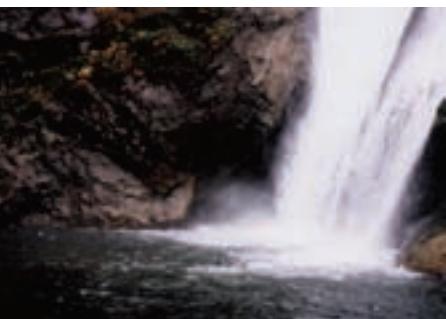
瀧の上流から竜頭の滝・竜門の滝・白竜の滝・登竜の滝・竜尾の滝と流れ落ちるが一堂に会して見ることが出来ない。竜頭の滝と竜門の滝はみごとな流線美を見せていた。



〔53〕鈴ヶ滝（新潟県）

55m

紅葉の名残の中、雨上がりの滝は推量が多く写真で見るよりも豪快に感じた。



一九九六年
行程
総計
一月二日
二、三一
km
二四、二五〇
km

〔54〕七ツ滝（山形県）

九〇m



滝のある山の反対の山より
観瀑をする。

雄大な山をバックに流れ落ちる姿は、落ち着いた雰囲気をかもしだしている。



〔55〕白糸の滝（山形県）

一一三m

普通、滝には滝壺があり、
流れで川へ辿り着く。この滝
は滝壺がなく、落ちた水は地
下をくぐつて川の中央に流れ

て行くと言う。
最上川の船下りから見る滝
は風情があるだろう。

下をくぐつて川の中央に流れ



一九九六年 一月三日
行程
総計二四、二五四km

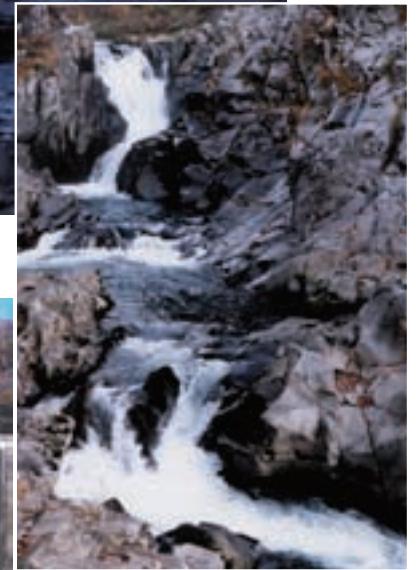
一九九六年 一月三日
行程
総計二四、二五三km

〔56〕法体の滝（秋田県）

100m

河床の神秘的な岩肌と未広
がりに白い布をたれ下げたよ
うに流れる美しい滝だ。

夜、ライトアップしていた
時があったという。幻想的で
あろうと想像する。



一九九六年一月三日
総行程
計二四、二五七
km 三日



観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
40	3 21	龍双ヶ滝	福井県	池田町、九頭竜川水系				1,332	4	1,336
41	3 //	阿弥陀ヶ滝	岐阜県	白鳥町、長良川					1	1
42	3 23	根尾の滝	岐阜県	小坂町、御岳水系					16	16
43	4 27	八草の滝	和歌山県	日置川町、日置川				1,997	2	1,999
44	4 //	桑ノ木の滝	和歌山県	新宮市、熊野川水系					3	3
45	4 28	那智の滝	和歌山県	那智勝浦町、那智川					3	3
46	4 //	布引の滝	三重県	紀和町、熊野川水系					1	1
47	4 29	笹の滝	奈良県	十津川村、熊野川水系					2	2
48	4 //	不動七重滝	奈良県	下北山村、熊野川水系					2	2
49	4 30	双門の滝	奈良県	天川村、弥山川					8	8
50	5 2	中の滝	奈良県	上北山村、東ノ川					3	3
51	5 3	七つ釜滝	三重県	宮川村、宮川水系					13	13
52	10 22	寂地峡五竜の滝	山口県	錦町、寂地山系	1,600		140	5	1,745	
53	11 2	鈴ヶ滝	新潟県	朝日村、高根川			2,307	4	2,311	
54	11 3	七ツ滝	山形県	朝日村、東大鳥川					3	3
55	11 //	白糸の滝	山形県	戸沢村、最上川					1	1
56	11 //	法体の滝	秋田県	鳥海町、鳥海山水系					3	3
				1996年度計	0 1,600	0	5,776	74	7,450	

[57] 原不動滝（兵庫県）

奥播磨に光るユートピア波
賀町の優雅な名瀑である。



一九九八年 四月四日 行程二、〇二五km
総計二六、二八二km

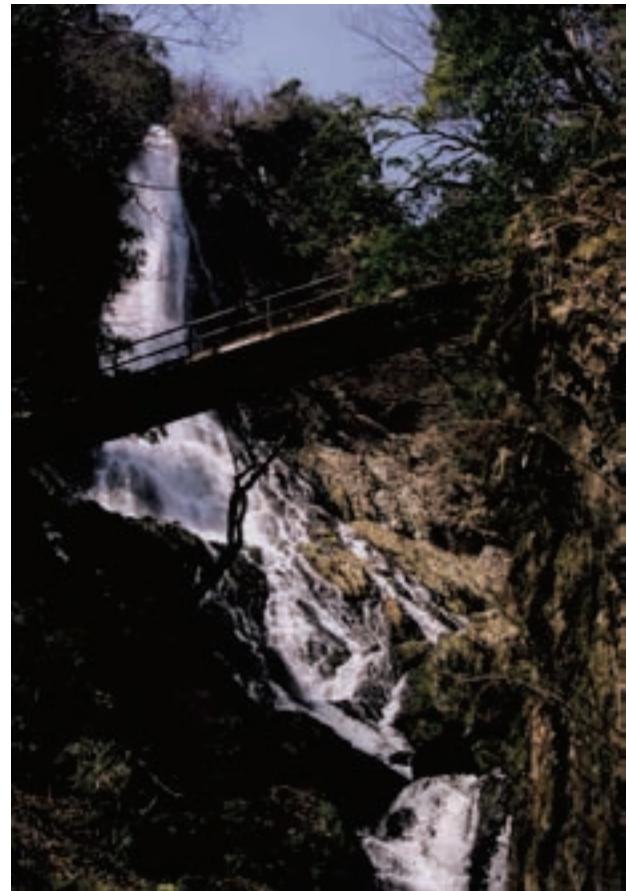
[58] 天滝（兵庫県）

NHK朝のドラマ「ふたり
つ子」のタイトルバックに登
場した滝である。流れ落ち
る中間地点では、滝の近くま
で行ける。天に届くほどのス

ケールの大きい滝である。
その場で上と下を見渡すと、
いつもながら、「自然は大きく、
人間は小さいものだな」と感
じた。



九八m



一九九八年 四月四日 行程二、二八五km
総計二六、二八五km

[59] 猿尾滝（兵庫県）

滝の右岸に不動尊が祀られている。樹林の茂る木々の間から一気に流れ落ちるみごとな滝である。

一九九八年 四月四日
行程 二 km
総計 二六、二八七 km

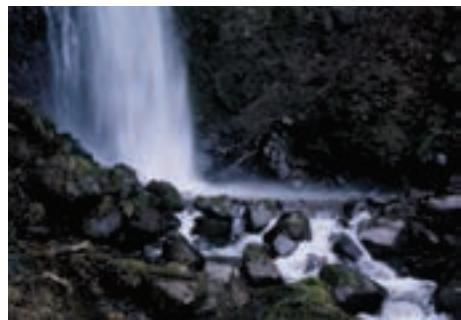


[60] 雨滝（鳥取県）

落口から一気に落下する様は豪快である。
滝流は滝壺で跳ね返されず、た。

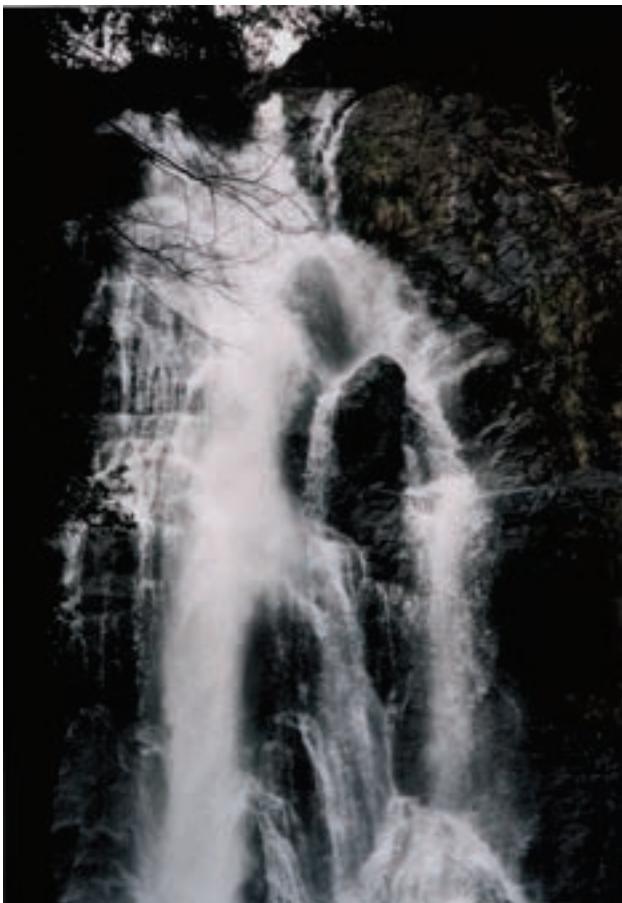
一九九八年 四月五日
行程 四 km
総計 二六、二九一 km

四〇m



〔61〕神庭の滝（岡山県）

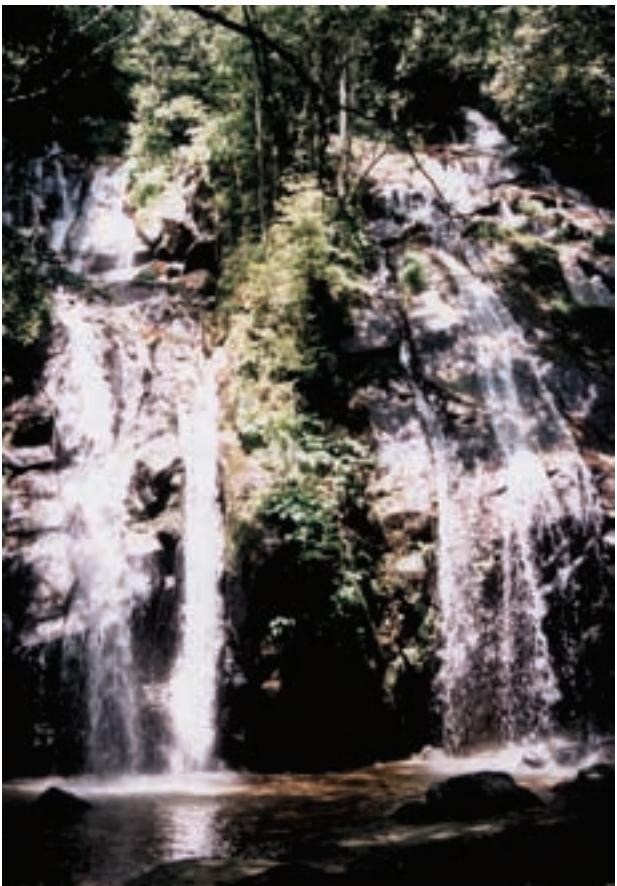
深い森の中、落差一一〇M
の中国地方随一の大きな滝。
親指を突き出しているよう
な、堅固な岩石を分け入るよ
うに流れる様は印象的な滝で
ある。



〔62〕金引の滝（京都府）

一九九八年 四月五日
行程 三 km
総計二六、二九四 km

四〇m



く。

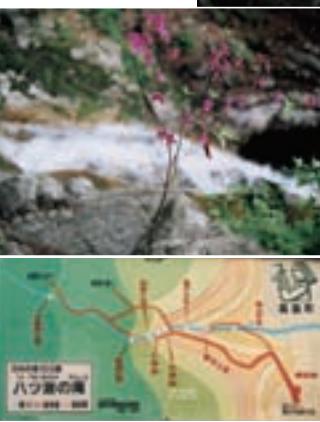
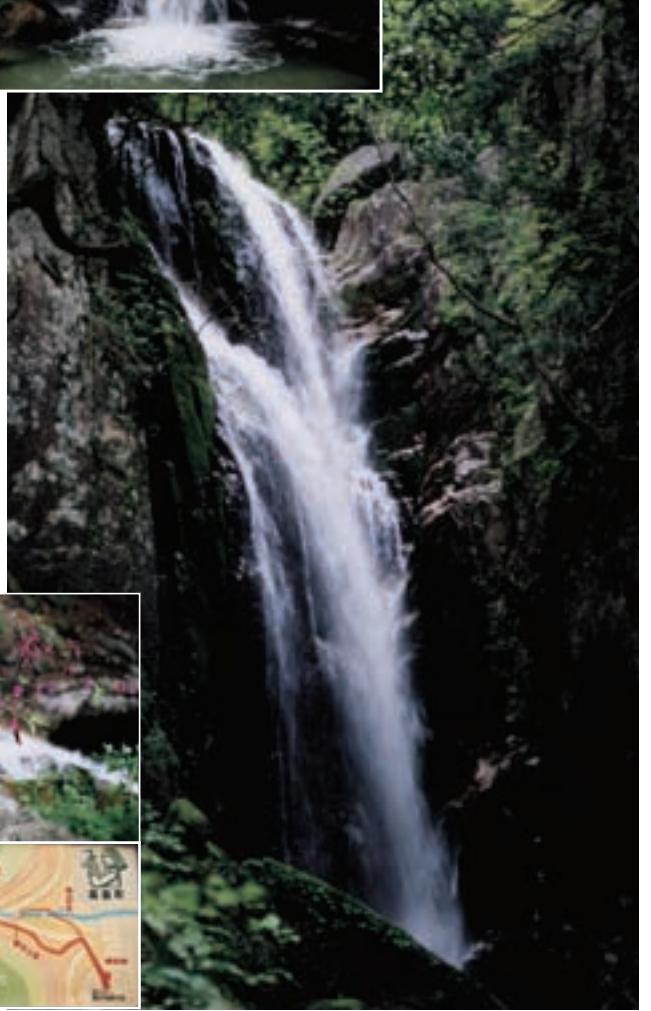
宮津市宮津湾・天橋立の近
く。
滝は未広がりに流れ味わい
を感じさせる滝である。

一九九八年 四月三〇日
行程 一、六五四 km
総計二七、九四八 km

〔63〕八ツ淵の滝（滋賀県）

三〇m

琵琶湖の近く高島町鴨川にかかる八つの淵は、貴船淵には趣を感じ、大・小摺鉢には安らぎを感じる滝である。

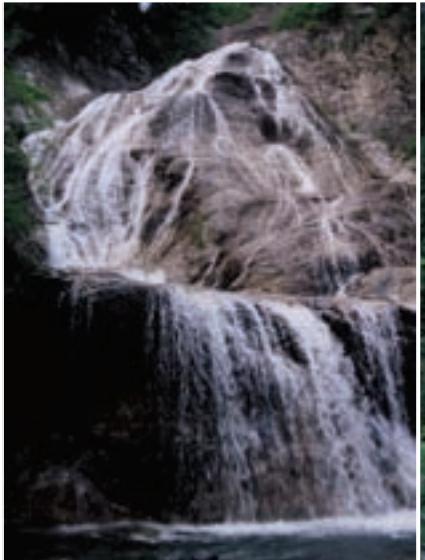


一九九八年五月一日
総行程二七、九五四km

〔64〕姥ヶ滝（石川県）

一一m

山の中腹より岩肌に沿つて
白い絹糸のように流れる様は、
姥の髪様を思わせる、秀麗な
滝である。



一九九八年五月二日
総行程二七、九六二km



1998 年度 行程表

観瀑日	100名瀑			工程km						
	月 日	滝 名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
57 4 4	原不動滝	兵庫県	波賀町、揖保川水系		1,400			622	3	2,025
58 4 //	天滝	兵庫県	大屋町、大屋川						3	3
59 4 //	猿尾滝	兵庫県	村岡町、矢田川水系						2	2
60 4 5	雨滝	鳥取県	国府町、千代川						4	4
61 4 //	神庭の滝	岡山県	勝山町、神庭川						3	3
62 4 30	金引の滝	京都府	宮津市、金引山麓						1,652	2 1,654
63 5 1	八ツ淵の滝	滋賀県	高島町、鴨川						6	6
64 5 2	姥ヶ滝	石川県	吉野谷村、尾添川						8	8
				1998年度計	0 1,400	0 2,274	31	3,705		

〔65〕くろくまの滝（青森県）

八五m

午後三時に自宅をスタート、滝入り口まで、車両走行距離は七七三km、その到着はもちろん翌日でお昼の一時ころ、休憩をいれて二二時間はさす

がに乗りごたえはあつた。滝壺から見る、落差八五mの見上げた滝は雄大であった。

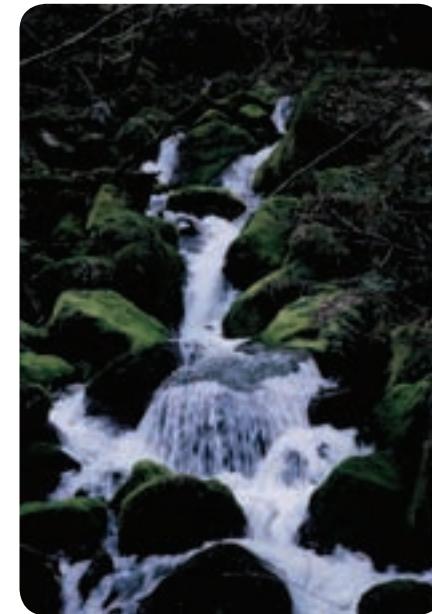
夕方は暗門の滝付近にある
日帰り温泉「アクアグリーン

ビレッジ AN MON」にて入湯、駐車場の車内にて夕食を取つた。

一九九九年

八月八日

総行程
計
二九、六一四
km



〔66〕松見の滝（青森県）

九〇m

この滝は、徒歩でのアプローチはどこよりも長いであろう。気温は暑く、飲み水は底をつき脱水症状になつてしまつた。途中、帰途である若いカップルに出会つた。女性

は滝壺をスッポンポンで泳いで来た、涼しかつたと話していた。

滝は三段からなり、水量も多くみごとであつた。



一九九九年八月九日
総行程
計二九、六三〇km
一六km

1999年度 行程表

観瀑日		100名瀑			工程km						
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計	
65	8	8	くろくまの滝	青森県	鰺ヶ沢町、赤石溪流			1,650	2	1,652	
66	8	9	松見の滝	青森県	十和田湖町、黄瀬川				16	16	
				1999年度計		0	0	0	1,650	18	1,668



[67] マリユドウの滝（沖縄県）

石垣島から高速艇で西表島まで行き、滝までは河を船で溯つた。まさに日本のジャングルで、特に夜間の行動は無事が保障されないという雰囲気があつた。イリオモテヤマネコにはもちろんお目にかかるれず残念、看板の紹介をみて我慢。



〔68〕龍門滝（鹿児島県）

四六m

その昔、唐人が「漢土の龍門の瀑を見るがごとし」と賞したことから、この名があると伝えられているこの滝は、

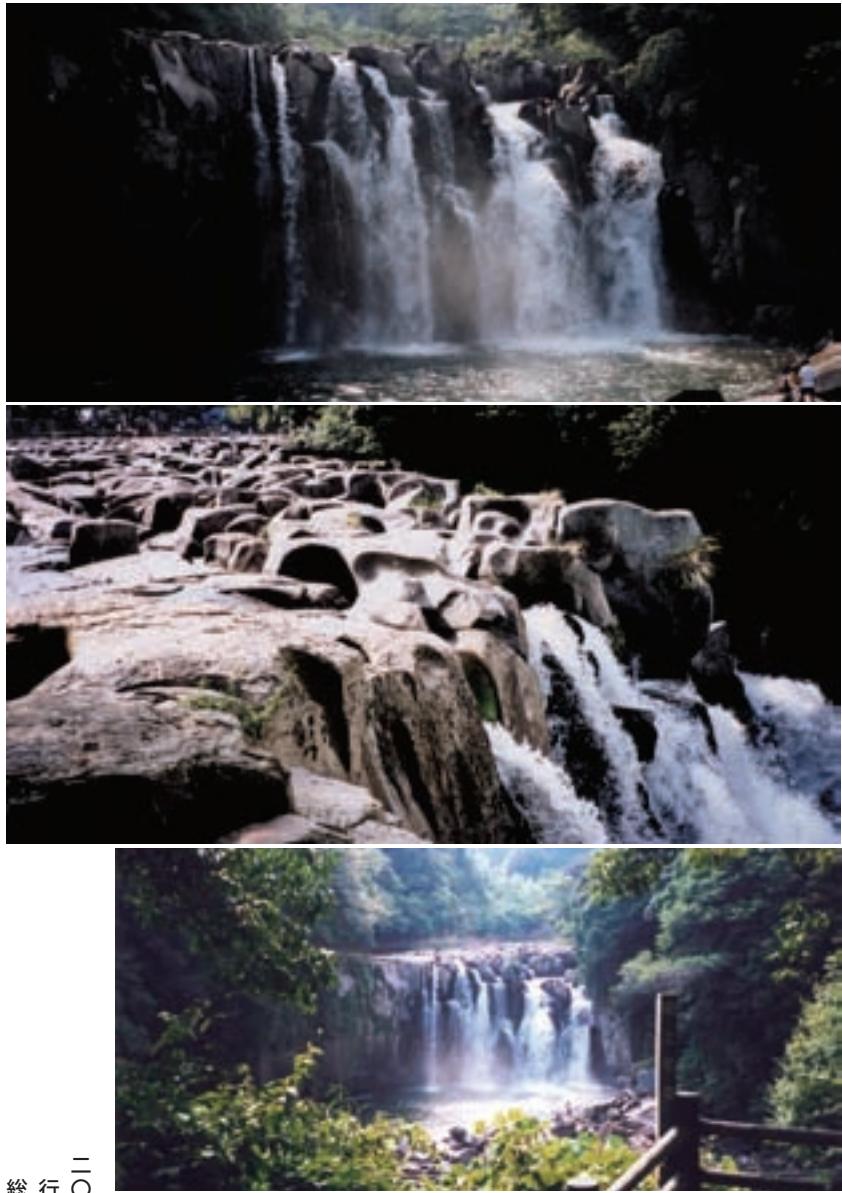
高さ四六メートルあり、岩肌を見せながら滝つぼにめがけて落ちるしぶきは豪快である。



二〇〇〇年 八月一五日
総行程 一、二三七 km
計 三二、九七九 km

二〇〇〇年 八月一四日
総行程 二、一一二 km
計 三一、七四二 km





滝の上流の河床は何千もの甌穴群から成り、その甌穴の間を庄内川の水は遊歩道から水面を見せずに流れ。落ち口に立ち、上流の甌穴をぬつて流れて来た水が滝壺に落ちて行く様は、渓谷の永い歴史を感じ、神秘的である。

二〇〇〇年 八月一五日
総行程 三二、九八一km

〔70〕 鹿目の滝（熊本県）

三六m



球磨川の支流、鹿目川にあるこの滝は落差三六メートルで、屏風のひだを極細かくした様な柱状節理の岸壁を豪快に流れる。

流水の多い時、滝幅はみごとな姿を見ると言う。この時は右岸からだけの流身であつたが、滝壺でのマイナスイオン浴は心が癒された。



二〇〇〇年 八月一六日
総行程 三〇二km
計三三、二八三km

〔71〕大川の滝（鹿児島県）

八八m

2000年度 行程表

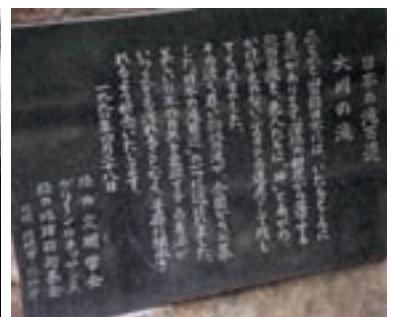
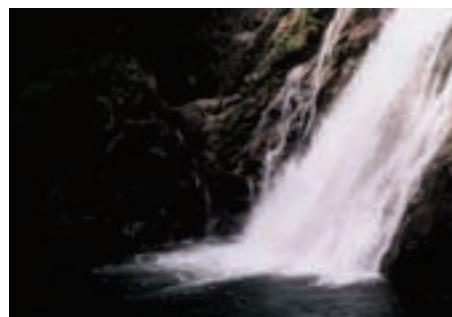
観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
67	8 14	マリュドウの滝	沖縄県	西表島竹富町	2,000		90	16	6	2,112
68	8 15	龍門滝	鹿児島県	加治木町、綱掛川	1,000			236	1	1,237
69	8 //	関之尾滝	宮崎県	都城市、庄内川					2	2
70	8 16	鹿目の滝	熊本県	人吉市、球磨川支流	300				2	302
71	8 16	大川の滝	鹿児島県	屋久町、屋久島	1,300			80	3	1,383
				2000年度計	4,600	0	90	332	14	5,036



石碑に書かれた、緑の文明
学会・グリーンルネッサンス・
緑の地球防衛基金は日本の滝
百選の主催団体であり、平成
2年日本の滝百選記念誌「日
本の名瀑」の写真集を発行さ

地元では、おおこのたき
と呼んでいる。
同島、屋久島にある千尋の
滝と同様に水量の多い豪快で
見事な滝である。

二〇〇〇年 八月一六日
総行程 一、三八三 km
計三四、六六六 km



〔72〕常清滙（広島県）

一一六m



作木川の支流にかかる落差
126Mのこの滙は3段からなる
段滙である。深い緑の樹林か
ら覗かせる褐色の岩壁は流水
の白と調和が取れ、岩肌を縫

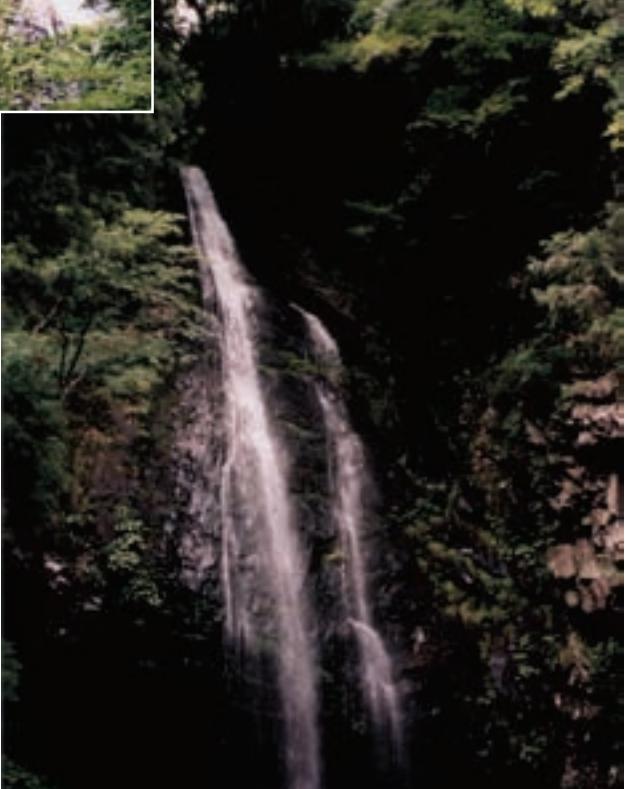
うように、線を引くように流
れる様はみごとなまでの造形
芸術を思われるが、ここはま
さに自然の芸術である。

二〇〇一年八月一二日
行程二、一四〇km
総計三六、八〇六km

〔73〕龍頭八重滙（島根県）

四〇m

小鳥のさえずりが聞こえる
山峠の清流。春の新緑・夏の
清流・秋の紅葉・冬の雪景色
と豊かな自然が優しく包み込
んでくれる 八汐滙・八塩滙・
姫滙・姥滙・河鹿滙・紅葉滙・
滝尻滙・猿飛滙の千姿万態の
滙が集まり一大渓谷美をなす
(掛合町 八重滙案内図より)
龍頭ヶ滙は裏見の滙でもある。



二〇〇一年八月一二日
行程三、三六km
総計三六、八〇九km

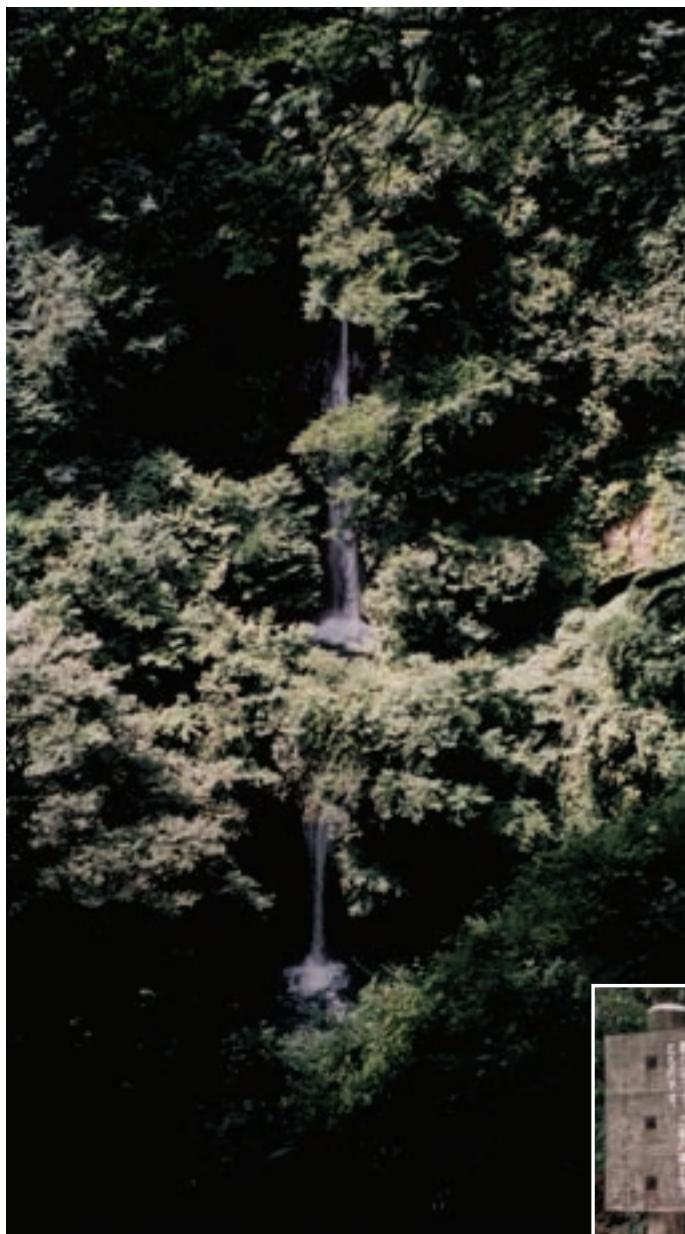


〔74〕大山滝（島根県）

東伯町 加勢蛇川の上流に
あり、2段の滝である。地獄
谷の深い谷を彫り、人を滝壺
に寄せつけない。やむなく対

岸の中段からの展望となつた。

二〇〇一年 八月一三日
総行程 三六、八一九km



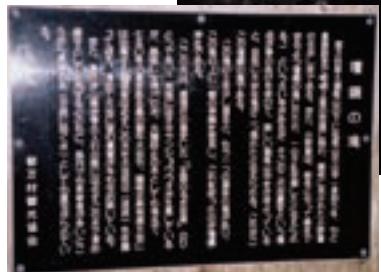
〔75〕壇鏡の滝（島根県）

五〇m



隱岐島 都万村の壇鏡神社
の近くにある、二筋からなる
滝である。水量が少なく五〇m
の絶壁の岩肌が印象深かった。
滝の水は全国名水百選の水で
もある。

二〇〇一年 八月一四日
総行程 三七、〇〇九km



2001年度 行程表

観瀑日 月 日	100名瀑			工程km					
	滝 名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
72 8 12	常清滝	広島県	作木村、作木川					2,135	5 2,140
73 8 //	龍頭八重滝	島根県	掛合町、鳥屋丸山系						3 3
74 8 13	大山滝	鳥取県	東伯町、加勢蛇川						10 10
75 8 14	壇鏡の滝	島根県	都万村、那久川				160		30 190
			2001年度計	0	0	160	2,135	48	2,343

76 雨乞の滝（徳島県）

四五m



この滝では昔から日照りが続いたときには村人が鉦や太鼓をたたいて、踊りを奉納して雨乞いをしたという。

右側の雌滝もみごとであるが、左側の雄滝の滝壺に落ちる流水の飛沫は岩と調和が取れて美しかった。

二〇〇二年 八月一日
総行程 計三九、五五六 km

〔77〕大釜の滝（徳島県）

110m

国道一九三号線に隣接する
この滝は落差二〇M 淵の深
さは約十五Mあり、滝壺の底
には大蛇が住むという伝説が

残されている。

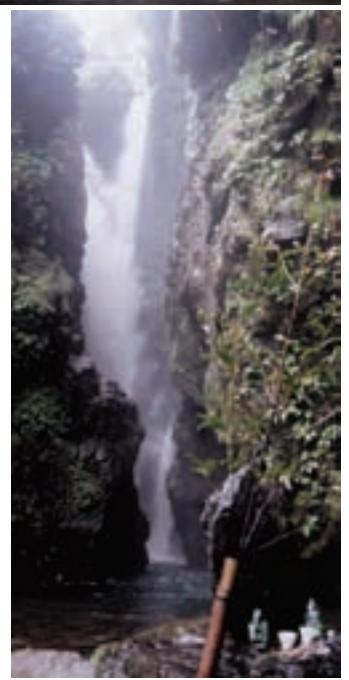
階段を降り、広大な渓谷に
包まれながら河原に座り、工
メラルドグリーンの滝壺をな

がめていると大自然の胎内に
包まれている様で不思議にも
ゆつたりとした、落ち着いた
趣を感じさせる滝である。



〔78〕轟九十九滝（徳島県）

58m



海部川の源流、王餘魚谷川
に位置し、滝へは轟本瀧神社
の赤い鳥居をくぐる。

滝壺に入ると両サイドには
岩壁がせまり、その奥に大きな
岩を分けて流れ落差五八
Mの滝が見えてくる。滝飛沫
の量は濃霧状態を思わせる。
この滝壺に神輿が入るとい
う、その神事は一度見てみた
い。



二〇〇二年 八月一日
総行程 三九、五五九 km
二 km



〔79〕轟の滝（高知県）

八二m



物部川水系の日比原川の
渓谷に姿を現すこの滝は落差

七八Mで三段に流れる。

この滝の凄さは下段の滝流
のナイアガラの滝の水煙を思
い起させた。

が正面の岩に打ち碎かれ、天
空に舞い上がる水滴群は、あ

二〇〇二年 八月一二日 行程
総計三九、五六三km 四km



〔80〕龍王の滝（高知県）

一六m



吉野川水系にあり、県立自
然公園・梶ヶ森の七合目に位
置する、落差二〇Mではある
が、岩壁の岩の色と苔むした
岩、樹々の緑と変則的な倒木

の対比が神秘的でもあり、水
量豊かで豪快に流れ落ちる姿
はみごとな滝であった。

二〇〇二年 八月一二日 行程
総計三九、五六六km 三km

〔81〕雪輪の滝（愛媛県）

八〇m

一枚岩を水が輪を作るよう
に流れるこの滝は、地元の人
はここを滝滑りするという。
当日も女性群は滝壺の近く
で滝滑りをしていた、私は
滝の上から挑戦してみた。

途中の小さな岩の出っ張り
でジャンプをし、ジャージの
お尻に穴を開け、スピードが
出過ぎて滝壺を通り過ぎ、あ
わや対岸にぶつかるところだ
った。

駐車場で車のドアを開けて
着替えをしていたら、この付
近に生息している猿の軍団が、
車の中に侵入し、目の前で食
料を持って行かれた。
猿くん、スペゲティ用の

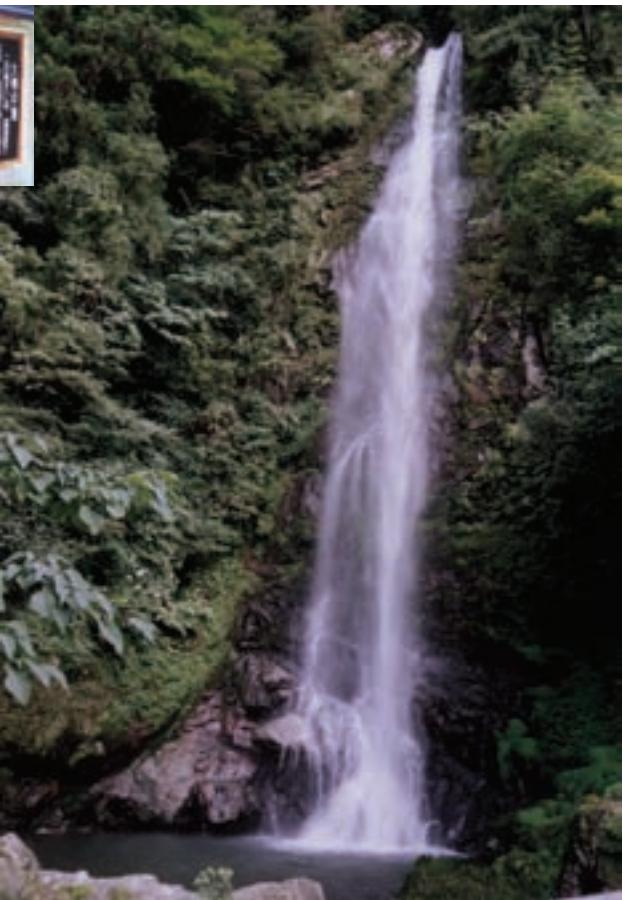
ピーマン、袋に入っていたあ
めは美味しかったですか！



二〇〇二年 八月一三日
行程 四km
総計 三九、五七〇km

〔82〕大樽の滝（高知県）

三三一m



土佐湾へと迫る、仁淀川水系にかかる

この滝は落差三一Mである。

ゆつたりと流れ落ちる姿は、滝を包む
樹林の緑と調和がとれ、心が落ち着き、
和やかさを感じさせる滝である。

二〇〇二年 八月一三日
行程 三km
総計 三九、五七三km



2002年度 行程表

観瀑日		100名瀑			工程km					
月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩	計
76	8 11	雨乞の滝	徳島県	神山町、吉野川上流				2,545	2	2,547
77	8 //	大釜の滝	徳島県	木沢村、那賀川水系					1	1
78	8 //	轟九十九滝	徳島県	海南町、海部川源流					2	2
79	8 12	轟の滝	高知県	香北町、物部川水系					4	4
80	8 //	龍王の滝	高知県	大豊町、吉野川水系					3	3
81	8 13	雪輪の滝	愛媛県	松野町、滑床渓谷					4	4
82	8 //	大樽の滝	高知県	越智町、仁淀川水系					3	3
83	8 15	御来光の滝	愛媛県	面河村、面河渓					5	5
				2002年度計	0	0	0	2,545	24	2,569

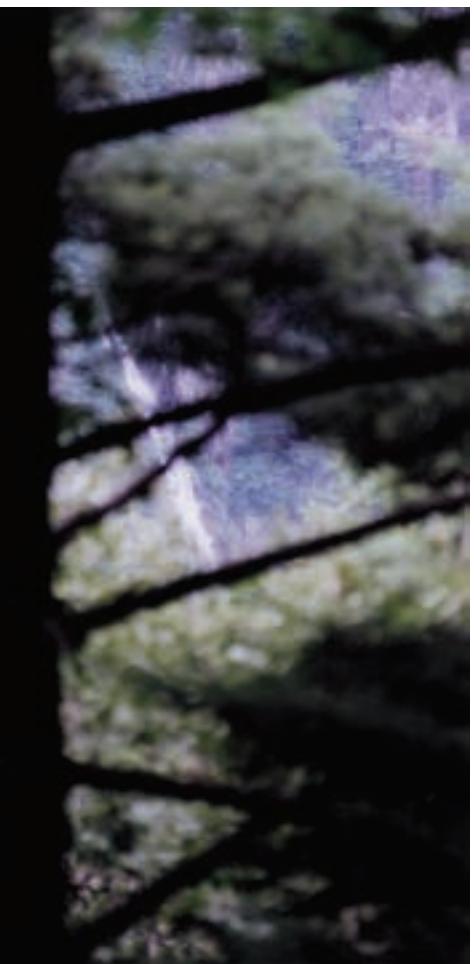
この滝を目指した日は大雨に会い登山口にある面河茶屋の前の車の中で丸一日足止めをくつた。

その翌日、天候が回復への兆しがでてきた。大雨で入山禁止の案内があるも、車での走行距離で片道一〇〇〇kmを

また出直しもままならないと想い、目的地へ出発した。
大雨の後のため、沢登りのルートは止め、登山道を選んだ。滝の轟音が聞こえ目的地近くへ来たが、沢への降り口が見つからず、急坂の大暴雨のなかぶつた笠敷を分けて下ること

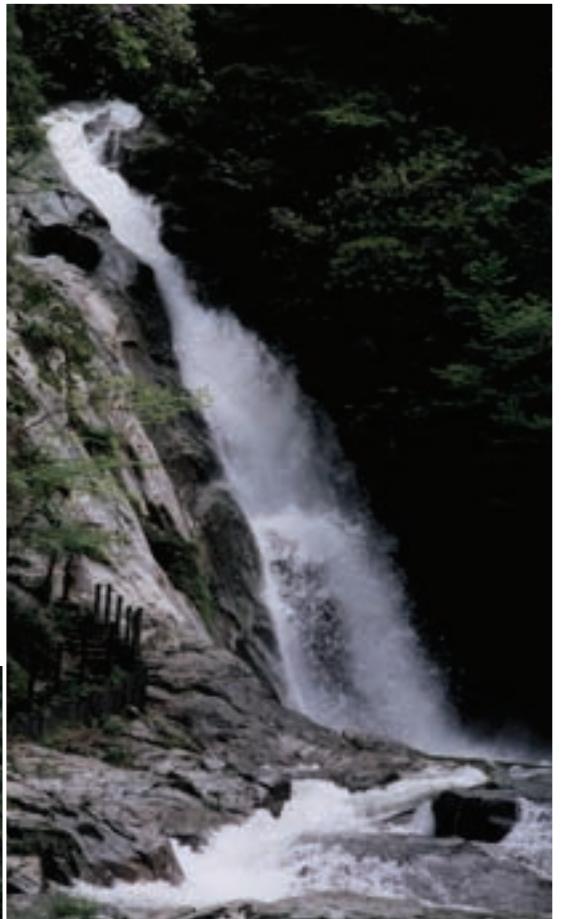
とは危険である。獣道すら見つける事もできず、登山道の脇にある愛大小屋の近くをうろうろしてしまった。霧の合間に遠く滝を見ることが出来た。

二〇〇二年 八月一五日
総行程 三九、五七八 km
計 五七八 km



〔84〕観音の滝（佐賀県）

四五m



七山耶馬渓の樹林の間から姿を現し、豪快な水量は滝壺へと踊り落ちる。躍動を感じる滝である。

生目觀音が祀られており、広沢局開眼四百周年記念の碑が建てられていた。

一〇〇三年 四月二六日
行程 三、〇四六km
総計 四二、六二四km

ここの大淵の水で目を洗うと眼

どこからこの流れが始まっているのかと思うほど、遙か彼方から流れてくる落差一〇〇Mの分岐瀑である。

当曰は水量が多く、左岸のアジサイの花が咲く頃には

本流と右岸の流れが調和を取り滝壺へと辿ついていた。

滝壺にはあちらこちらにアジサイの木があつた。

〔85〕見帰りの滝（佐賀県）

一〇〇m

どこからこの流れが始まっ

てているのかと思うほど、遙か彼方から流れてくる落差一〇〇Mの分岐瀑である。

当曰は水量が多く、左岸の

アジサイの花が咲く頃には

非来てみたい。

一〇〇三年 四月二六日
行程 五 km
総計 四二、六二九 km



〔86〕四十三万滝（熊本県）

二五m



二〇〇三年 四月二七日
総 行 程 四 km
計 四二、六三三 km

朝もやの陽ざしを受けた
渓流を背景とした滝は風情
がある。

〔87〕数鹿流ヶ滝（熊本県）

六〇m



阿蘇連山のふもと、阿蘇郡長陽村にあるこの滝は数頭の鹿が流れ落ちたことから、その名が付いたという。落差六〇Mの滝は水量が多い

く、滝壺の岩壁と樹々の緑と調和が取れ、ゆつたりと構え鹿壺へ豪快に落ちて行った。展望所には徳富蘆花文学遺跡の記念標識があつた。

二〇〇三年 四月二七日
総 行 程 一 km
計 四二、六三四 km

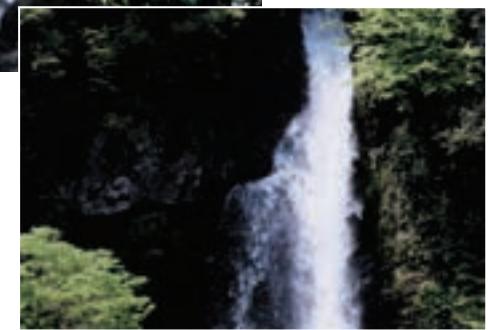
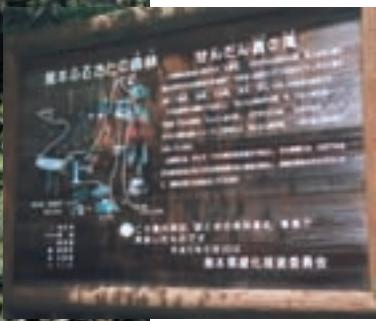


〔88〕梅檀轟の滝（熊本県）

七〇m

球磨川の支流、川辺川の秘境にある落差七〇Mの滝である。地元では滝のことを轟（とどろ）と呼んでいる。滝名も地元では梅檀轟で止まるよ。

うで梅檀轟の滝は梅檀の滝の滝となるようだ。対岸の観瀑台からの眺めとなつたが、大樹林の中で優雅さを漂わせていた。



二〇〇三年 四月二七日
行 程 二 km
総 計 四二、六三六 km

〔89〕真名井の滝（宮崎県）

一七m



宮崎県北西部 高千穂峠・五ヶ瀬川に流れ落ちる落差十七Mの神

秘的な滝は、ボートの上からゆつくりりと見上げることが出来る。

両岸のそそり立つ岩壁の間にボートを浮かべ、水面にやさしく流れ落ちる姿は高千穂峠ならでしか味わえない風情である。

滝の水は地中を潜流した地下水が湧水となつて池をつくり、その

池の一ヶ所が滝の落口となる。貯水量によって堰を解放するときがあり、ちょうどそのタイミングに出会えた。その大量の流水に目を奪われ、水面をたたく音は静肅さを一変した。

二〇〇三年 四月二八日
行 程 一 km
総 計 四二、六三七 km

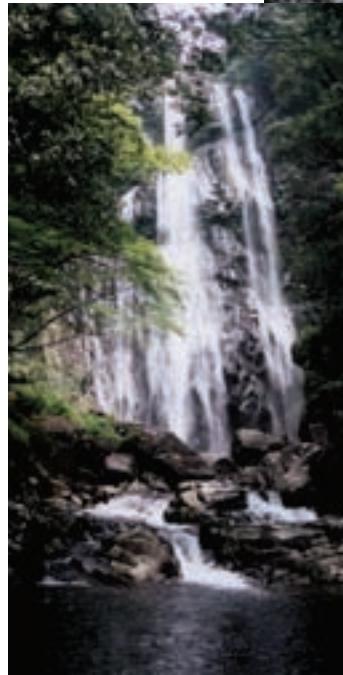
〔90〕矢研の滝（宮崎県）

七三m



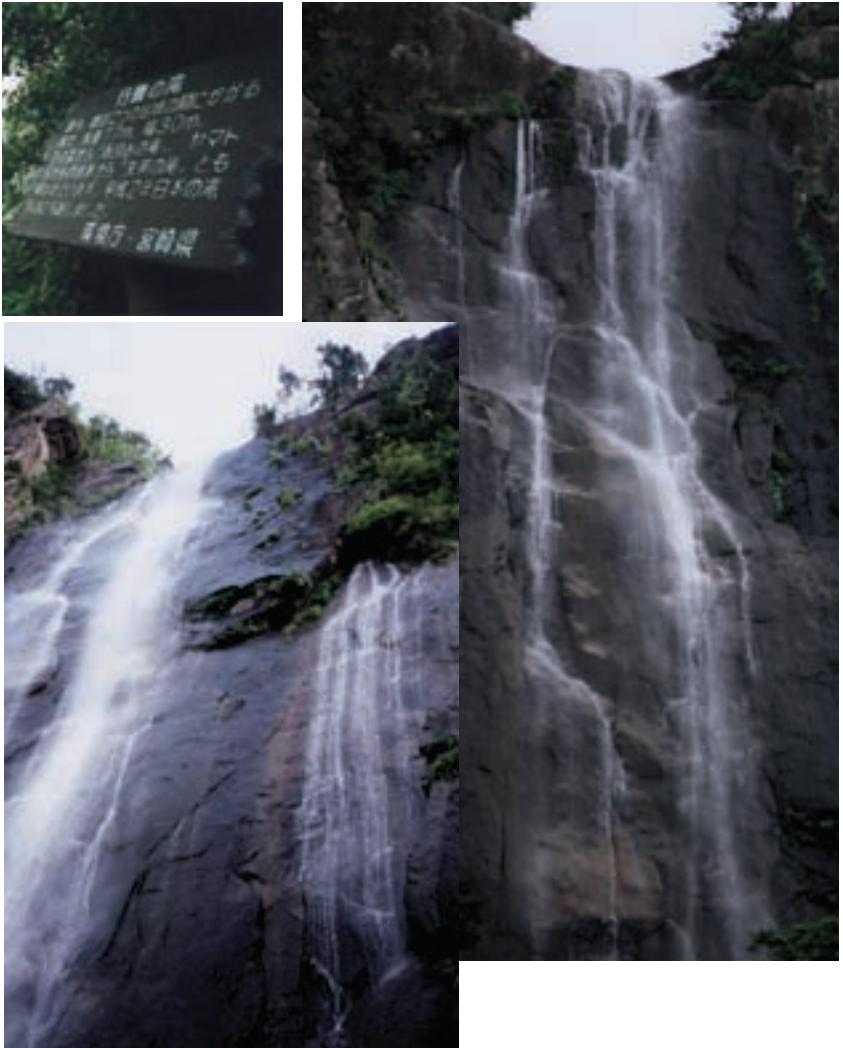
大和朝廷を開いたとされる神武天皇がこの滝で矢を研いだという言い伝えからこの名が付いたという。尾鈴山系・尾鈴県立自然公園内を流れる名貫川に位置し、落差七三mの滝である。

流れの白い姿・樹々の緑・岩壁の褐色と滝壺から流れ込む池を取り込み、画面配置を四等分に分けて見る滝は、見事なまでの美景である。



〔91〕行膝の滝（宮崎県）

七七m



行膝山の麓、大瀬川の支流にある七七mの滝である。袴の前面に腰から脚にかけて覆う行膝に似ていることから、この名が付いたという。

原生林の樹々に包まれた大岩壁から流れる姿は雄大である。この滝の上から落ちた人がいたと言う。岩壁の途中にある岩棚に止まり助かつた話は九死に一生ものである。

二〇〇三年 四月二九日
行程
総計 四二、六四五 km

二〇〇三年 四月二八日
行程
総計 四二、六四一 km

〔92〕原尻の滝（大分県）

110m



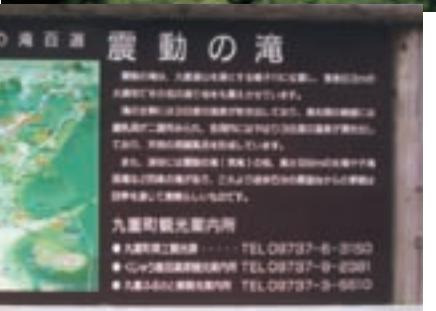
祖母山の麓、緒方川中流の田園地帯の中に位置し、落差二〇M幅一二〇Mの馬蹄形をした滝である。九州のナイアガラと称される。当 日は水量が少なかつたが滝幅いっぱいに流れ落ちる様は豪快である。公園や遊歩道が整備され滝を正面から望める吊り橋もあり情緒ある景観が楽しめる。



二〇〇三年 四月二九日
総行程 一 km
計四二、六四六 km

〔93〕震動の滝（大分県）

八三m



九重連山の麓、白水川の支流・鳴子川渓谷にかかる八三メートルの落差の滝である。垂直の岩壁を凄まじく流れ落ちる音は地を振動させる程

二〇〇三年 四月二九日
行程 三 km
総計四二、六四九 km



〔94〕西椎屋の滝（大分県）

八三m



玖珠町の椎屋耶馬渓の中の
惠良川に位置し日出生ダムの
下流にある落差八三Mの滝で
ある。

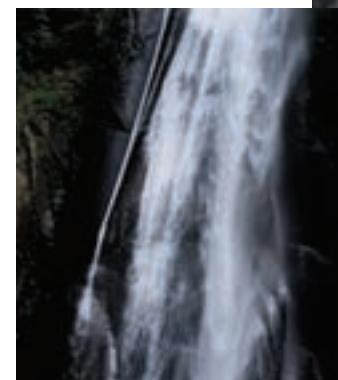
近くの東椎屋の滝とともに
宇佐の二大瀑布と呼ばれてい
る。観瀑台は二箇所あり、駐

車場から少し下がった上部か
らの観瀑とそこから急坂を約
二〇分下り、滝の正面での觀
瀑となる。

岩壁をV字形に切られたよ
うな落口からとこる狹しと一氣
に流れ落ちる様は豪快である。

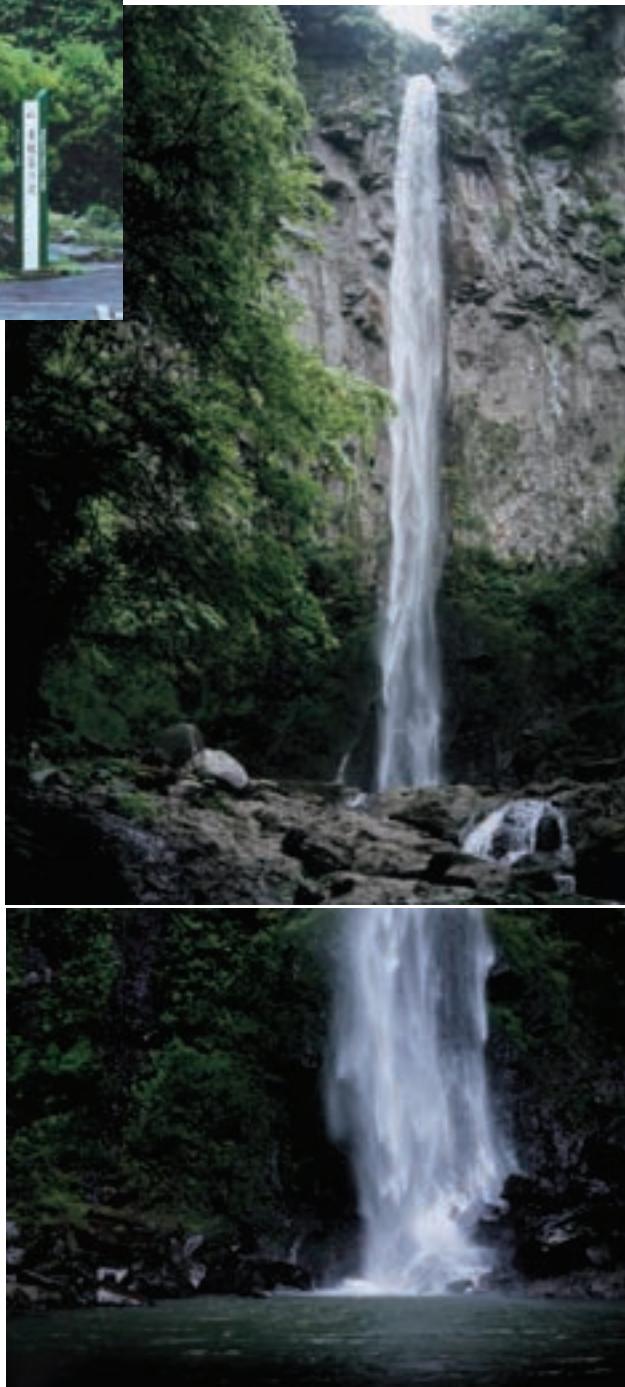
豪快に水しぶきを立てて流
れる中で、右岸に白いロープ
を置いたように筋の滝が出来
る光景が印象に残った。

一〇〇三年 四月二九日
行程 一 km
総計四二、六五〇 km



〔95〕東椎屋の滝（大分県）

八五m



椎屋耶馬渓内の津房川上流

にかかるこの滝のある町の名
は安心院町（あじむまち）と読
む。

高さ八五Mから大絶壁を流
れ落ちる様は樹々の緑に包ま
れて雄大な滝である。

滝壺は広くマイナスイオン
を沢山満ちていて、落ち着い
た雰囲気をかもし出している。

一〇〇三年 四月三十日
行程 二 km
総計四二、六五二 km

2003 年度 行程表

観瀑日	100名瀑			工程km						
	月	日	滝名	都道府県	市町・川名	飛行機	電車	船	車	徒歩
84 4 26	観音の滝	佐賀県	七山村、七山耶馬溪		2,000		1,044	2	3,046	
85 4 //	見帰りの滝	佐賀県	相知町、巖木川支流						5	5
86 4 27	四十三万滝	熊本県	菊池町、菊池渓谷						4	4
87 4 //	数鹿流ヶ滝	熊本県	長陽村、阿蘇山黒川						1	1
88 4 //	梅檀轟の滝	熊本県	泉村、球磨川支流						2	2
89 4 28	真名井の滝	宮崎県	高千穂町、高千穂峡						1	1
90 4 //	矢研の滝	宮崎県	都農町、名貫川上流						4	4
91 4 29	行縢の滝	宮崎県	延岡市、大瀬川支流						4	4
92 4 //	原尻の滝	大分県	緒方町、緒方川						1	1
93 4 //	震動の滝	大分県	九重町、鳴子川渓谷						3	3
94 4 //	西椎屋の滝	大分県	玖珠村、椎谷耶馬溪						1	1
95 4 30	東椎屋の滝	大分県	安心院町、津房川						2	2
			2003年度計	0	2,000	0	1,044	30	3,074	

〔96〕 インクラの滝（北海道）

五〇m



二〇〇四年
六月一九日
総行程
四六、三八三六 km
四八八六 km

作ってみたい方は
ここをクリック!

お気軽にメール下さい